

令和5年度  
第1回浜松市歯科保健推進会議



健康福祉部 健康増進課



# 令和5年度 第1回浜松市歯科保健推進会議

日時 令和5年7月20日（木）午後1時30分～

場所 浜松市口腔保健医療センター 講座室

## 次 第

### I 開会

### II 議題

- 1 令和4年度歯科口腔保健事業実績
- 2 口腔保健支援センター関連事業実績
- 3 歯科口腔保健推進に関する浜松市の取組
- 4 歯科保健の推進に関する委員のご意見
- 5 令和5年度歯科保健事業計画

### III その他

### IV 閉会

## 浜松市歯科保健推進会議 委員名簿

(敬称略、五十音順)

氏 名	所 属
池谷 志保	特定非営利活動法人 静岡県歯科衛生士会 理事
○ 磯部 智明	一般社団法人 浜松市医師会 副会長
稲川 弘子	ヘルスポランティア活動連絡会
小田 史子	浜松市手をつなぐ育成会 副会長
北村 庄吾	浜松市介護支援専門員連絡協議会 副会長
◎ 木村 裕一	一般社団法人 浜松市歯科医師会 会長
才川 隆弘	一般社団法人 浜松市歯科医師会 副会長
鈴井 浩子	浜松民間保育園園長会 理事
野寄 秀明	一般社団法人 浜松市薬剤師会 副会長
村上 祐介	一般社団法人 浜松市歯科医師会 副会長

◎ 会長

○ 会長職務代理者

任期：令和4年4月1日から、令和7年3月31日まで

【事務局】

平野 由利子	健康福祉部 医療担当部長（口腔保健支援センター長）
渥美 雅人	健康福祉部 健康増進課長
小笠原 雅美	健康福祉部 健康増進課長補佐
伊藤 梓	健康福祉部 健康増進課 口腔保健医療センター 所長
井川 昌代	健康福祉部 健康増進課 口腔保健医療センター 副主幹
戸谷 由里	健康福祉部 健康増進課 口腔保健医療センター 副技監
川瀬 真由	健康福祉部 健康増進課 口腔保健医療センター

【関係課等】

久保田 尚宏	健康福祉部 障害保健福祉課長
鈴木 博	健康福祉部 高齢者福祉課 医療・介護推進担当課長
大村 貴弘	健康福祉部 介護保険課長
前嶋 卓志	健康福祉部 国保年金課長
板倉 称	健康福祉部 参与
西崎 公康	健康福祉部 健康医療課長
大橋 泰仁	こども家庭部 幼児教育保育課 幼児教育指導担当課長
原川 知己	ウェルネス推進事業本部 副本部長
富部 哲也	学校教育部 健康安全課長
竹村 和枝	中区 健康づくり課長
北村 聡	東区 健康づくり課長
鈴木 香賀	西区 健康づくり課長
大西 敏巳	南区 健康づくり課長
松田 のり子	北区 健康づくり課長
櫻井 政男	浜北区 健康づくり課長
野沢 和好	天竜区 健康づくり課長

## II 議題

### 1 令和4年度歯科口腔保健事業実績

#### (1) 全区実績

事業名	令和4年度		令和3年度		前年比	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数

#### ア 妊娠期・乳幼児期

妊婦歯科健康診査		2,508人		2,571人		△ 63人
歯科相談（全年齢）	75回	1人	53回	6人	22回	△ 5人
電話相談		167人		83人		84人
1歳6か月児歯科健康診査	186回	5,357人	184回	5,604人	2回	△ 247人
2歳児歯科健康診査（教室あり）	99回	886人	95回	876人	4回	10人
2歳児歯科健康診査（健診のみ）	99回	725人	95回	452人	4回	273人
3歳児歯科健康診査	42回	4,955人	42回	4,865人	0回	90人
フッ化物洗口（幼稚・保育・こども園）	94園	3,694人	105園	3,848人	△11園	△ 154人
口を育む教室（子育て支援ひろば）	60回	758人	43回	585人	17回	173人
（保育所・幼稚園）※媒体貸出	117園	6,470人	146園	7,128人	△29回	△ 658人
歯科健康教育（母子）	23回	230人	64回	875人	△41回	△ 645人
もぐもぐ元気っこ教室（個別含む）	30回	501人	22回	361人	8回	140人
親子すこやか相談	112回	335人	111回	320人	1回	15人
歯と口の健康週間事業（総参加者数）	3会場	1,069人	中止	-	-	-

#### イ 学齢期

学校歯科健康診断		60,100人		60,840人		△ 740人
歯科健康教育（小・中・高等学校）	14回	718人	14回	689人	0回	29人

#### ウ 成人期

ママのための生活習慣病予防教室	1回	5人	4回	58人	△3回	△ 53人
歯周病検診		5,245人		5,503人		△ 258人
成人歯科健康教育	4回	115人	6回	97人	(同)	18人
市民公開講座（*YouTube配信による推定視聴人数を含む）	2回	120人	2回	480人	(同)	△ 360人

#### エ 高齢期

成人歯科健康教育	63回	942人	56回	938人	7回	4人
口腔機能向上支援事業	32回	497人	38回	679人	△6回	△ 182人
歯科訪問診査		37人		50人		△ 13人
健康長寿のための口の健康づくり訪問		12人		9人	-	△ 3人
訪問歯科相談（全年齢）	3回	3人	1回	1人	2回	2人

#### オ 障がい者の歯科

心身障がい者（児）歯科診療	137日	1,071人	143日	989人	△6日	82人
障がい者施設歯科健診	46施設	910人	52施設	1,067人	△6施設	△ 157人

#### カ 状況に応じた歯科口腔保健医療

休日救急歯科診療	72日	870人	72日	967人	0日	△ 97人
----------	-----	------	-----	------	----	-------

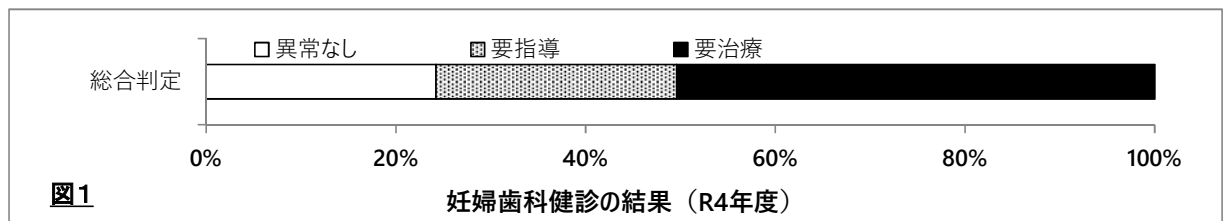
## (2) 各事業別詳細報告

### ア 妊娠期・乳幼児期

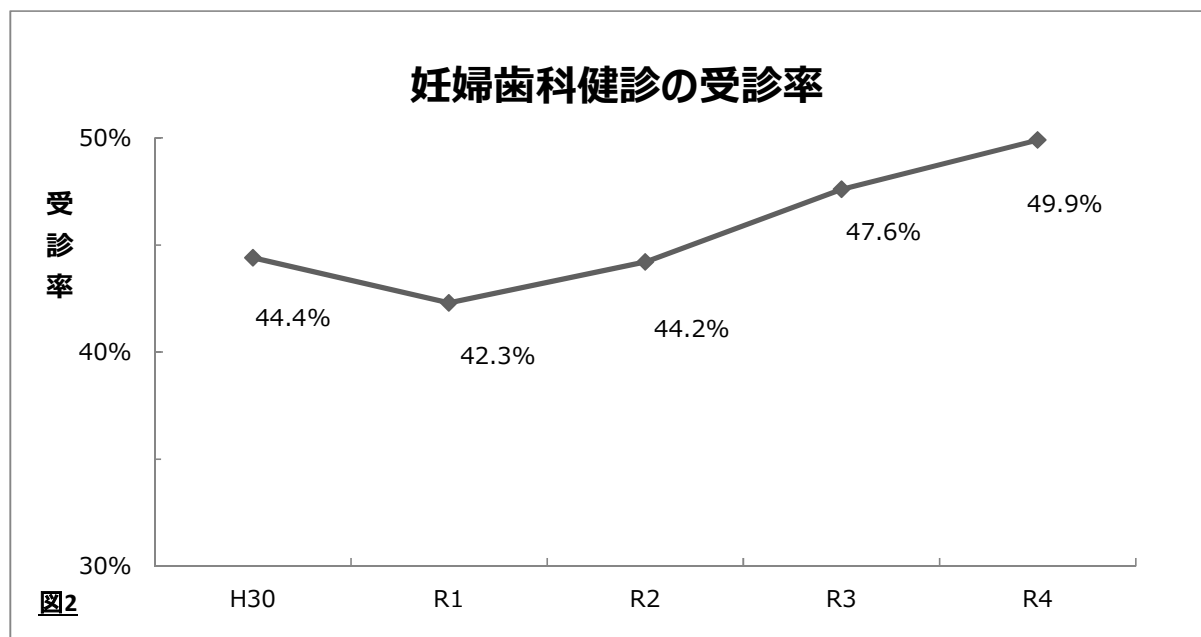
#### (ア) 妊婦歯科健康診査

・妊婦（主に妊娠16～31週）を対象に健康診査と歯科保健指導を実施（個別健診：委託）

		浜松市	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
対象者数		5,027人	1,554人	980人	601人	683人	475人	663人	71人人
受診者数		2,508人	827人	507人	276人	323人	232人	312人	31人
受診率		49.9%	53.2%	51.7%	45.9%	47.3%	48.8%	47.1%	43.7%
定期的な歯科検診の受診率		45.1%	49.0%	43.0%	47.1%	41.8%	44.4%	42.6%	25.8%
歯間部清掃器具使用率		50.8%	51.8%	52.1%	55.4%	52.0%	44.8%	47.1%	35.5%
むし歯のある者の割合(有病者率)		33.4%	31.8%	35.5%	33.3%	34.7%	26.3%	38.5%	29.0%
一人平均未処置むし歯数		0.8本	0.9本	0.8本	0.9本	1.1本	0.5本	0.9本	0.7本
歯石沈着者率		71.3%	71.2%	73.6%	68.5%	74.3%	62.9%	73.1%	74.2%
歯周疾患	なし	632人	233人	127人	77人	73人	58人	58人	6人
	歯肉炎	1,042人	342人	187人	97人	139人	102人	156人	19人
	歯周炎	834人	252人	193人	102人	111人	72人	98人	6人
	要治療(%)	33.3%	30.5%	38.1%	37.0%	34.4%	31.0%	31.4%	19.4%
総合判定	異常なし	608人	216人	114人	83人	66人	51人	69人	9人
	要指導	636人	216人	141人	46人	81人	69人	76人	7人
	要治療	1,264人	395人	252人	147人	176人	112人	167人	15人
	要治療(%)	50.4%	47.8%	49.7%	53.3%	54.5%	48.3%	53.5%	48.4%



・要治療の者の割合は、西区、南区、浜北区で高かった。



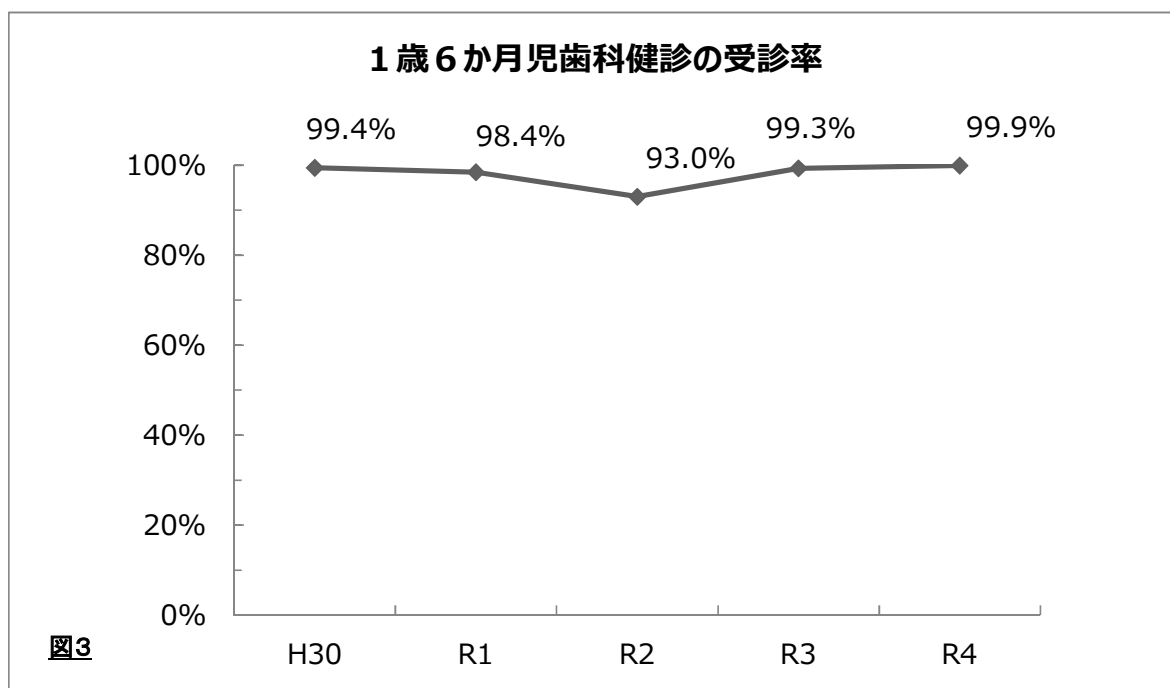
令和4年度の受診率は49.9%に増加した。

## (イ) 1歳6か月児歯科健康診査

・1歳6か月～8か月児を対象に、健康診査、相談を実施（集団健診）

	浜松市	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
対象者数	5,365人	1,618人	963人	682人	732人	551人	731人	88人
受診者数	5,357人	1,619人	948人	675人	728人	576人	724人	87人
受診率	99.9%	100.1%	98.4%	99.0%	99.5%	104.5%	99.0%	98.9%
むし歯のない者	5,326人	1,610人	946人	673人	720人	573人	718人	86人
むし歯のある者	31人	9人	2人	2人	8人	3人	6人	1人
むし歯のある者（有病者率）	0.6%	0.6%	0.2%	0.3%	1.1%	0.5%	0.8%	1.1%
未処置歯数の合計（C）	88本	30本	2本	4本	21本	4本	20本	7本
処置歯数の合計（O）	1本	0本	0本	1本	0本	0本	0本	0本
要観察歯数の合計（CO）	164本	46本	28本	18本	26本	24本	21本	1本
一人平均むし歯数（C+O）	0.02本	0.02本	0.00本	0.01本	0.03本	0.01本	0.03本	0.08本
一人平均要観察歯（CO）数	0.03本	0.03本	0.03本	0.03本	0.04本	0.04本	0.03本	0.01本
軟組織の異常	586人	260人	77人	83人	90人	32人	41人	3人
不正咬合	595人	192人	111人	73人	79人	64人	66人	10人

・むし歯がある者の割合は0.6%程度である。



令和4年度の受診率は99.9%で増加した。



## (ウ) 2歳児歯科健康診査

・2歳0か月～11か月の児を対象に、歯科健康診査を実施（集団健診）

	浜松市	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
受診者数	1,611人	405人	290人	195人	235人	200人	245人	41人
受診者数（教室参加）	937人	251人	161人	111人	125人	128人	136人	25人
受診者数（健診のみ）	674人	154人	129人	84人	110人	72人	109人	16人
むし歯のある者	12人	1人	0人	3人	3人	3人	2人	0人
むし歯のある者（有病者率）	0.7%	0.2%	0.0%	1.5%	1.3%	1.5%	0.8%	0.0%
一人平均要観察歯（CO）数	0.04本	0.03本	0.02本	0.06本	0.09本	0.04本	0.00本	0.15本
要観察歯がある者（CO者率）	2.0%	1.7%	1.0%	3.6%	3.0%	2.0%	0.4%	7.3%

・完全予約制で実施している。

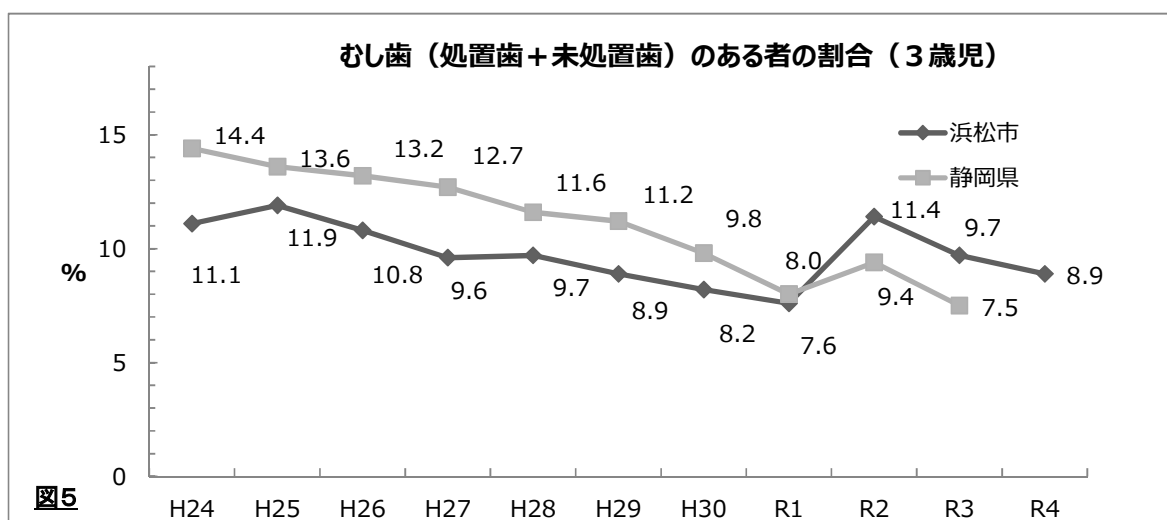
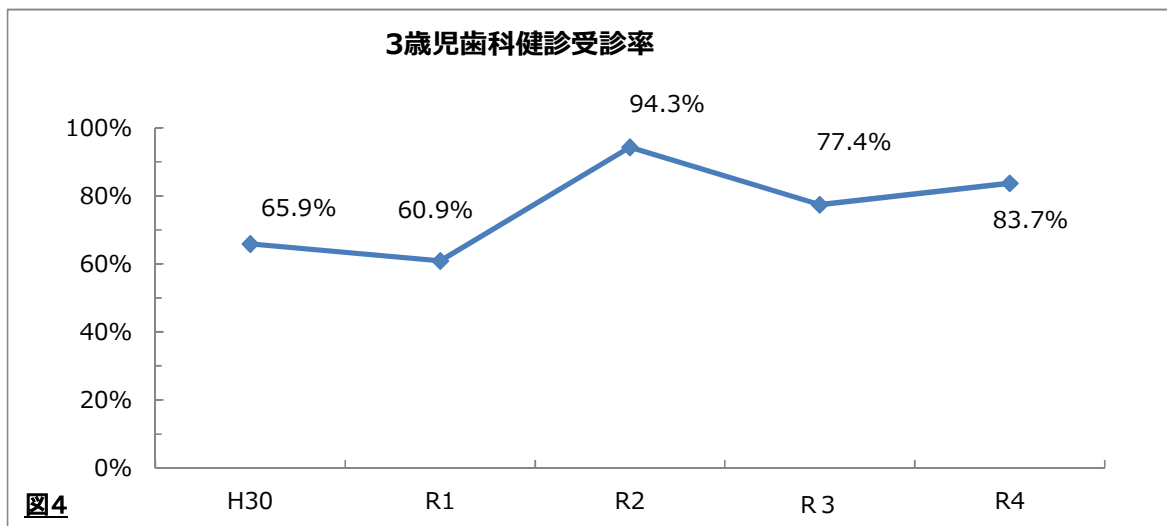
## (エ) 3歳児歯科健康診査

・3歳0か月～11か月児を対象に、健康診査、相談を実施（集団健診を個別健診に振替えて実施）

	浜松市	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
対象者数	5,917人	1,744人	1,061人	749人	798人	661人	799人	105人
受診者数	4,955人	1,452人	836人	594人	612人	541人	809人	111人
受診率	83.7%	83.3%	78.8%	79.3%	76.7%	81.8%	101.3%	105.7%
むし歯のない者	4,515人	1,323人	767人	530人	533人	501人	760人	101人
むし歯のある者	440人	129人	69人	64人	79人	40人	49人	10人
むし歯のある者（有病者率）	8.9%	8.9%	8.3%	10.8%	12.9%	7.4%	6.1%	9.0%
むし歯の数	1,432本	392本	208本	222本	290本	159本	127本	34本
うち（未処置歯）	(1,129本)	(308本)	(159本)	(170本)	(231本)	(114本)	(117本)	(30本)
（処置歯）	(303本)	(84本)	(49本)	(52本)	(59本)	(45本)	(10本)	(4本)
一人平均むし歯数	0.29本	0.27本	0.25本	0.37本	0.47本	0.29本	0.16本	0.31本
うち（未処置歯）	(0.23本)	(0.21本)	(0.19本)	(0.29本)	(0.38本)	(0.21本)	(0.14本)	(0.27本)
（処置歯）	(0.06本)	(0.06本)	(0.06本)	(0.09本)	(0.10本)	(0.08本)	(0.01本)	(0.04本)
一人平均要観察歯（CO）数	0.21本	0.25本	0.18本	0.24本	0.24本	0.25本	0.09本	0.08本
軟組織の異常	176人	49人	31人	27人	37人	14人	18人	0人
不正咬合	1,069人	293人	191人	158人	157人	116人	133人	21人

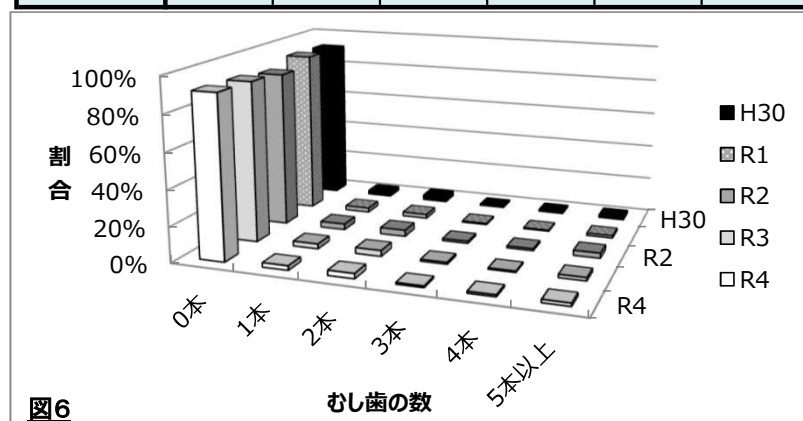
・むし歯がある者の割合は8.9%（440人）と前年の9.7%から0.8ポイント、減少した。

・医科との集団健診である浜北、天竜区の受診率は変動がないが、それ以外の区の受診率は増加している。



むし歯(処置歯+未処置歯)のある者の割合（3歳、浜松市）

	むし歯の本数					
	0本	1本	2本	3本	4本	5本以上
H30	91.8%	2.3%	2.9%	0.6%	0.9%	1.5%
R1	92.4%	2.5%	2.3%	0.7%	0.6%	1.4%
R2	87.8%	3.3%	3.6%	1.2%	1.1%	2.9%
R3	90.3%	2.8%	3.3%	1.0%	0.7%	1.8%
<b>R4</b>	<b>91.1%</b>	<b>2.5%</b>	<b>2.8%</b>	<b>0.8%</b>	<b>1.0%</b>	<b>1.7%</b>



## ウ 成人期

### (ア) 歯周病検診（30歳以上）

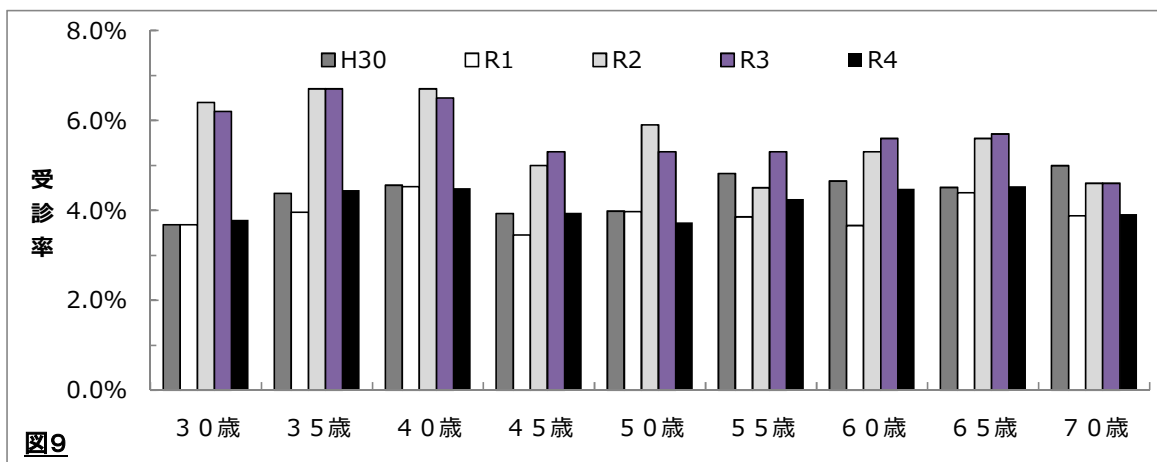
・対象：30歳以上（うち、30歳から70歳の5歳刻みで受診券を送付）

	浜松市	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区	
受診者数	5,245人	1,521人	827人	665人	779人	641人	672人	140人	
定期的に歯科受診をしている割合	41.2%	42.7%	38.5%	39.7%	43.1%	44.1%	39.6%	32.9%	
総合判定	異常なし	589人	167人	113人	95人	80人	90人	37人	7人
	要指導	1,865人	541人	291人	206人	284人	197人	302人	44人
	要治療	2,791人	813人	423人	364人	415人	354人	333人	89人
	要治療(%)	53.2%	53.5%	51.1%	54.7%	53.3%	55.2%	49.6%	63.6%

・受診者数は、令和3年度(5,503人)から減少だった。

・要治療の者の割合は53.2%と、過年度と同程度だった。

#### 【受診率】



	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳	70歳
H30	3.7%	4.4%	4.6%	3.9%	4.0%	4.8%	4.7%	4.5%	5.0%
R1	3.7%	4.0%	4.5%	3.5%	4.0%	3.9%	3.7%	4.4%	3.9%
R2	6.4%	6.7%	6.7%	5.0%	5.9%	4.5%	5.3%	5.6%	4.6%
R3	6.2%	6.7%	6.5%	5.3%	5.3%	5.3%	5.6%	5.7%	4.6%
R4	3.8%	4.5%	4.5%	3.9%	3.7%	4.3%	4.5%	4.5%	3.9%

### (イ) 市民公開講座（浜松市歯科医師会に委託）

#### R4.7.3 「お口元気でしっかり栄養」

参加者：56人

#### R4.11.20 「『食べる』発達～健口な成人は子どもから～」

参加者：64人 \* Web視聴者を除く。

## エ 高齢期

### (ア) 口腔機能向上普及啓発事業（高齢者福祉課）

・市内で活動するサロン等の65歳以上の高齢者の団体を対象に、歯科衛生士が口腔機能向上のための集団指導を実施

年度	実施回数	受講人数
令和4年度	16団体	497人
令和3年度	19団体	679人
令和2年度	7団体	129人

### (イ) 歯科訪問診査

・在宅療養者に対して、歯科医師が家庭に訪問して、健診、保健指導を実施

#### 受診者の状況

状況	実人数
介助で 車イス	7人
寝たり 起きたり	4人
自力で 車イス	3人
室内自立	13人
自力で 寝返り可	4人
自力で 寝返り不可	6人
計	37人

#### 診査結果の内訳（実人数：37人）

		延べ人数
診査結果	要訪問診療	32人
	要通院診療	5人
	要高次医療機関受診	0人
	処置不要	1人
指導事項	歯口清掃指導	23人
	義歯の取扱指導	12人
	食事指導	7人
	その他	5人
対応方針	訪問診療	31人
	通院診療	5人
	高次医療機関受診	2人
	歯科衛生士による訪問歯科衛生指導	1人
	その他	2人

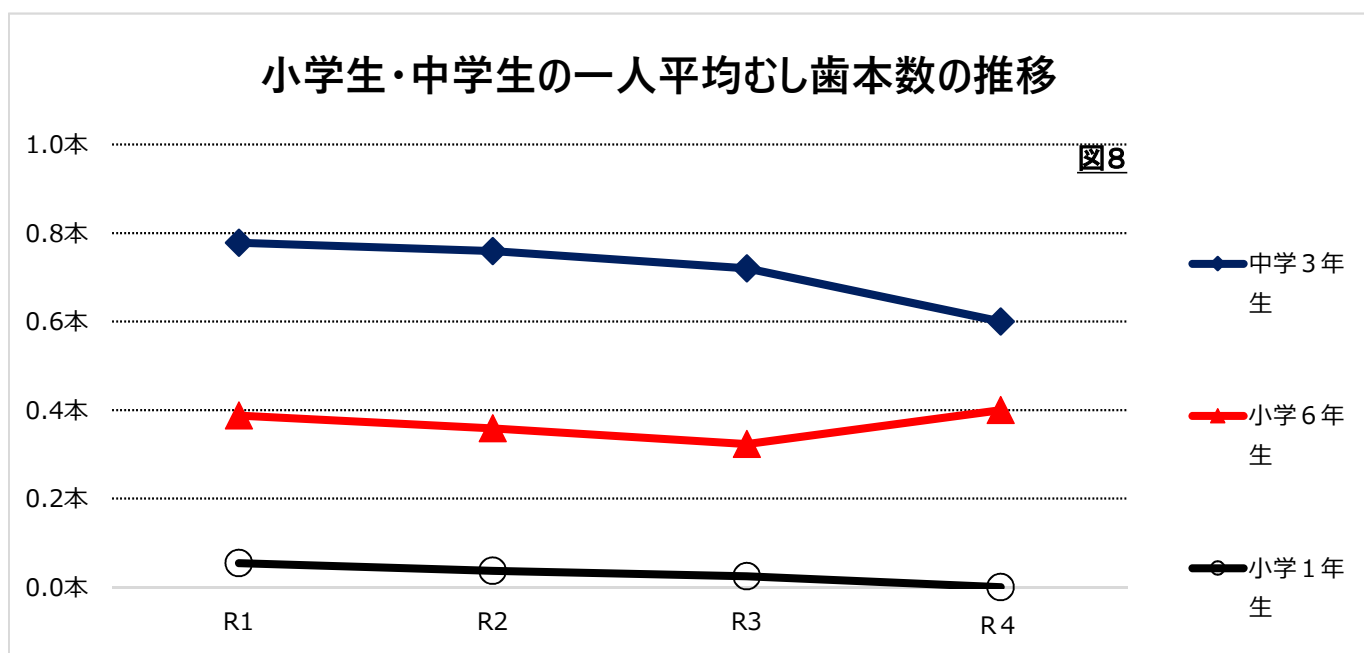
## イ 学齢期

### (ア) 学校歯科健康診断（健康安全課）

#### 小学生・中学生一人平均むし歯本数

学年	項目	むし歯本数(永久歯)			
		令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
小学1年生		<b>0.0本</b>	0.0本	0.0本	0.1本
小学2年生		<b>0.1本</b>	0.1本	0.1本	0.1本
小学3年生		<b>0.1本</b>	0.1本	0.2本	0.2本
小学4年生		<b>0.2本</b>	0.2本	0.2本	0.2本
小学5年生		<b>0.3本</b>	0.3本	0.3本	0.3本
小学6年生		<b>0.4本</b>	0.3本	0.4本	0.4本
中学1年生		<b>0.4本</b>	0.4本	0.5本	0.5本
中学2年生		<b>0.5本</b>	0.5本	0.6本	0.7本
中学3年生		<b>0.6本</b>	0.7本	0.8本	0.8本

・前年度と比較すると、むし歯の本数はほぼ横ばいである。



## ウ 成人期

### (ア) 歯周病検診（30歳以上）

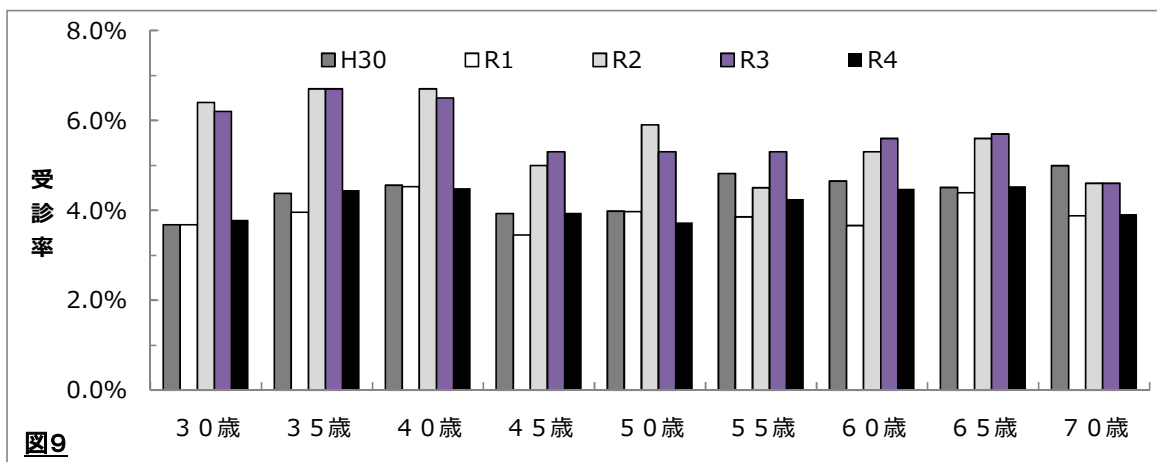
・対象：30歳以上（うち、30歳から70歳の5歳刻みで受診券を送付）

	浜松市	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区	
受診者数	5,245人	1,521人	827人	665人	779人	641人	672人	140人	
定期的に歯科受診をしている割合	41.2%	42.7%	38.5%	39.7%	43.1%	44.1%	39.6%	32.9%	
総合判定	異常なし	589人	167人	113人	95人	80人	90人	37人	7人
	要指導	1,865人	541人	291人	206人	284人	197人	302人	44人
	要治療	2,791人	813人	423人	364人	415人	354人	333人	89人
	要治療(%)	53.2%	53.5%	51.1%	54.7%	53.3%	55.2%	49.6%	63.6%

・受診者数は、令和3年度(5,503人)から減少だった。

・要治療の者の割合は53.2%と、過年度と同程度だった。

#### 【受診率】



	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳	70歳
H30	3.7%	4.4%	4.6%	3.9%	4.0%	4.8%	4.7%	4.5%	5.0%
R1	3.7%	4.0%	4.5%	3.5%	4.0%	3.9%	3.7%	4.4%	3.9%
R2	6.4%	6.7%	6.7%	5.0%	5.9%	4.5%	5.3%	5.6%	4.6%
R3	6.2%	6.7%	6.5%	5.3%	5.3%	5.3%	5.6%	5.7%	4.6%
R4	3.8%	4.5%	4.5%	3.9%	3.7%	4.3%	4.5%	4.5%	3.9%

### (イ) 市民公開講座（浜松市歯科医師会に委託）

#### R4.7.3 「お口元気でしっかり栄養」

参加者：56人

#### R4.11.20 「『食べる』発達～健口な成人は子どもから～」

参加者：64人 \* Web視聴者を除く。

## エ 高齢期

### (ア) 口腔機能向上普及啓発事業（高齢者福祉課）

・市内で活動するサロン等の65歳以上の高齢者の団体を対象に、歯科衛生士が口腔機能向上のための集団指導を実施

年度	実施回数	受講人数
令和4年度	16団体	497人
令和3年度	19団体	679人
令和2年度	7団体	129人

### (イ) 歯科訪問診査

・在宅療養者に対して、歯科医師が家庭に訪問して、健診、保健指導を実施

#### 受診者の状況

状況	実人数
介助で 車イス	7人
寝たり 起きたり	4人
自力で 車イス	3人
室内自立	13人
自力で 寝返り可	4人
自力で 寝返り不可	6人
計	37人

#### 診査結果の内訳（実人数：37人）

		延べ人数
診査結果	要訪問診療	32人
	要通院診療	5人
	要高次医療機関受診	0人
	処置不要	1人
指導事項	歯口清掃指導	23人
	義歯の取扱指導	12人
	食事指導	7人
	その他	5人
対応方針	訪問診療	31人
	通院診療	5人
	高次医療機関受診	2人
	歯科衛生士による訪問歯科衛生指導	1人
	その他	2人

## オ 障がい者の歯科

### (ア) 障がい者施設歯科健診

- ・生涯を通じて歯や口の機能を維持するのに効果的な「かかりつけ歯科で定期管理を受ける習慣」を普及啓発するために、障害福祉サービス事業所、障害者支援施設を訪問して歯科健診を実施。

#### かかりつけ歯科がある者の割合

		令和4年度	令和3年度	令和2年度
受診施設数		48 施設	52 施設	2 施設
受診者数	総数	910 人	1,067 人	26 人
	男性	585 人	660 人	13 人
	女性	325 人	407 人	13 人
平均年齢		40 歳	40 歳	32 歳
「かかりつけ歯科医あり」の者の割合 <sup>(注1)</sup>		82.6%	79.1%	76.9 %
「過去1年間に歯科受診あり」の者の割合 <sup>(注2)</sup>		69.3%	56.2%	73.1 %
【参考】「過去1年間に歯科受診あり」のうち、「定期受診あり」の割合 <sup>(注3)</sup>		55.7%	56.1%	73.1 %

- ・かかりつけ歯科医院がある人の割合は8割、過去1年間に歯科受診がある人の割合は7割程度であった。

(注1)～(注3) 該当者数(有効回答数)

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
(注1)	752人 (906人)	844人 (1066人)	20人 (26人)
(注2)	631人 (865人)	600人 (1064人)	19人 (26人)
(注3)	507人 (795人)	599人 (1064人)	19人 (26人)



## 2 令和4年度 口腔保健支援センター関連事業実施報告

### ①口腔ケア普及推進事業

- ・介護福祉サービス事業所職員を対象に、日常生活での口腔ケア技術の実習
- ・市内事業所5か所（計38人）

### ②障がい者歯科連携推進事業

- ・障がい者の歯科診療に必要な技術の実地研修と解説、及び知識の講義
- ・実地研修：12回 参加延人数 138人（歯科医師101人、歯科衛生士他37人）
- ・外部講師による講演：令和5年1月26日（木）実施  
「障害のある子の子育て ～母親の立場から～」  
（講師：浜松手をつなぐ育成会 小田 史子 先生）  
参加人数 21人

### ③研修会等

「フッ化物洗口説明会」：4/26・27

- ・参加者 幼児教育保育施設の職員 62人
- ・内容 フッ化物洗口の安全な実施方法および薬剤の管理について

「はみがき指導研修会」：5/18・23

- ・参加者 幼児教育保育施設の職員 36人
- ・内容 はみがき指導のしかたについて

「要介護者口腔ケア実践研修会」：6/23

- ・参加者 介護保険サービス提供事業者  
口腔保健医療センター：1回(9人)、市内事業所5か所（計38人）
- ・内容 口腔ケアに関する知識及び実技の研修

「障がい者施設歯科健診事業説明会」：10/17, 10/26

- ・参加者 障害福祉サービス事業者 56施設
- ・内容 かかりつけ歯科の重要性について

「健康教育研修」：12/12

- ・参加者 各区行政保健担当歯科衛生士 13人 浜松医大研修歯科医師 5名
- ・内容 相互での歯科相談体験研修  
「子どもの発達について」 「小児の口腔機能の発達」

#### ④ 歯科口腔保健推進に関する啓発

- ・歯科の受診啓発チラシおよび啓発物の配布
- ・「歯と口の健康週間」において街頭 PR 活動（6月3日）
- ・住民の求めに応じて出張型健康教育を実施
- ・「いい歯の日」前後において、事業所に啓発資料等を配布

厚生労働省の歯科健康診査事業に係るモデル事業（アプリを用いた健康チェック）の実施協力：事業所に対し、実施に向けてのチラシもしくは PDF にて QR コードの配布協力  
→ 2023年3月15日に『国民皆歯科健診実施に向けた歯科口腔保健推進セミナー～厚生労働省 令和4年度歯科健康診査推進事業等の成果報告～』にて結果報告。

#### ⑤ 健康長寿を目指して～口の健康づくり訪問～

- ・後期高齢者医療広域連合の実施する高齢者健康診査の質問票から69～79歳の、口の機能低下が疑われ、かつ、前年度に歯科に受診した記録がない者を対象として、歯と口の健康状態を把握するためのアンケートを実施し、希望があれば居宅等を訪問して、歯科受診の勧奨や歯科保健指導を行った。
- ・令和4年度は、令和3年度の準備期間に実施した際に頂いたご意見から、返送用封筒を同封の上実施した。

#### ⑥ 浜松市歯科口腔保健推進計画の評価

歯科口腔保健推進計画、健康増進計画、食育推進計画の評価のため実施した市民アンケート調査および歯科保健推進会議で公表している数値をもとに歯科口腔保健推進計画の最終評価を実施した。

# ④

## 1. タイトル

国民皆歯科健診実施に向けた歯科口腔保健推進セミナー  
～厚生労働省 令和4年度歯科健康診査推進事業等の成果報告～

## 2. 開催日時

2023年3月15日（水）

第一部：自治体における歯科口腔保健の推進に関する取組み 10:00-11:40

第二部：職域における歯科口腔保健の推進に関する取組み 13:00-14:10

## 3. プログラム案

内容	時間目安
<b>第一部 10:00-11:40</b>	
自治体における歯科口腔保健の推進に関する取組み	
事務連絡	10:00-10:01 1分
開会あいさつ NTT データ経営研究所	10:01-10:03 2分
R4年度歯科健康診査推進事業モデル事業の成果報告（自治体） NTT データ経営研究所	10:03-10:23 20分
事例紹介①（歯周疾患検診の新設に向けて） 北海道 小樽市保健所	10:23-10:38 15分
事例紹介②（健診会場等での歯周病簡易リスク検査の実施） 沖縄県 恩納村役場 健康保険課	10:38-10:51 15分
事例紹介③（ターゲットを絞った歯科健康診査の再勧奨の実施） 大阪府 吹田市健康医療部 成人保健課	10:51-11:06 15分
歯科口腔保健推進にむけた今後の取組等の紹介（仮） 厚生労働省 医政局歯科保健課 歯科口腔保健推進室	11:06-11:26 15分
質疑応答	11:26-11:36 10分
閉会	11:36-11:38 2分
～休憩～	
<b>第二部 13:00-14:10</b>	
職域における歯科口腔保健の推進に関する取組み	
事務連絡・第二部開催あいさつ NTT データ経営研究所	13:00-13:01 1分
R4年度歯科健康診査推進事業モデル事業の成果報告（職域） NTT データ経営研究所	13:01-13:21 20分

事例紹介④（健診会場等での歯周病簡易リスク検査の実施） 医療法人 徳洲会 湘南鎌倉総合病院	13:21-13:36 15分
事例紹介⑤（自治体と企業等との歯科口腔保健の連携した取組） 静岡県 浜松市 健康増進課 口腔保健医療センター	13:36-13:51 15分
歯科口腔保健推進にむけた今後の取組等の紹介（仮） 厚生労働省 医政局歯科保健課 歯科口腔保健推進室	13:51-14:06 15分
質疑応答	14:06-14:10 4分
閉会	14:10-14:11 1分



## 事例紹介⑤

### 自治体と企業等との 歯科口腔保健の 連携した取組

浜松市 健康増進課 口腔保健医療センター



## 目次



01 自治体の  
概要紹介



02 現状の歯科口腔  
保健の取組紹介



03 モデル事業で  
追加した実施事項



04 まとめ  
今後の取組 等



## 自治体の概要紹介

### 静岡県浜松市

豊かな自然に恵まれたまち、浜松。

平成17年7月1日、  
天竜川・浜名湖地域12市町村の合併により、全国2位の面積となり、  
人口は80万人を超え、  
静岡県第1位となりました。



遠州灘 中田島砂丘



ゆるキャン△の聖地  
浜名湖




## はままつ市長 出世大名 家康くん



特長	中央部には鳴神球場や浜南体育館、観光では浜名湖遊覧船の渡り、
スポーツポイント	浜名湖遊覧船の乗り場など
口歌	『浜松は日本一平和なまち』
お祭り	『無事町』お祭りのお祭り
観光の強み	浜名湖遊覧船や浜名湖の自然
魅力	『お祭り』お祭りのお祭り
お土産	『お祭り』お祭りのお祭り

## 小さな日本 浜松

国土縮図型の都市



※横浜から  
さいたま市までが  
約60km

南北に長く  
南北は太平洋  
北は長野県

東京と大阪の  
ほぼ中央


太平洋ベルトの中央にも  
位置し、物流の途中にも  
あたるので、工業が歴史的  
に盛んである。

静岡県の中小企業数は  
47都道府県中13番目に多い。

浜松市の面積は1,558km<sup>2</sup>  
東京で一番大きい  
奥多摩町 226km<sup>2</sup>  
東京都: 2,194km<sup>2</sup>

## 小さな日本 浜松

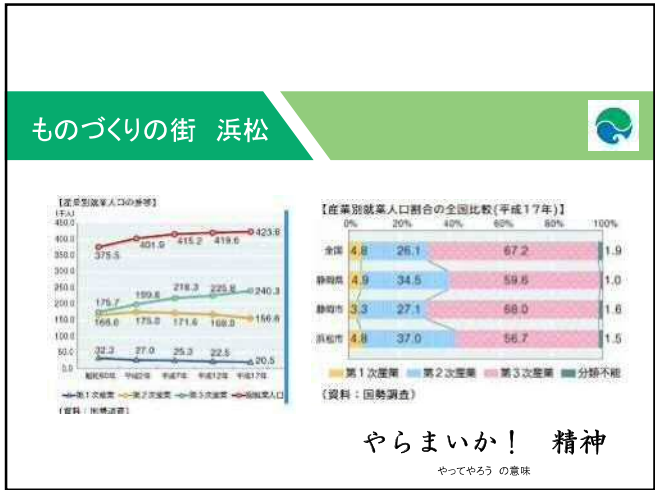
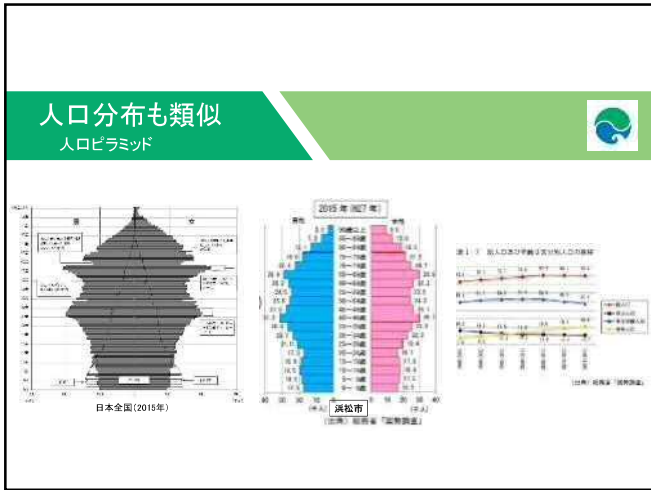
国土縮図型の都市



市域には、都市機能や先端技術産業などが  
集積する都市部、都市近郊の農業が盛んな  
平野部、豊富な水産資源に恵まれた沿岸部、  
そして広大な森林を有する中山間地域と、  
全国に類のない多彩なフィールドを有する  
**国土縮図型の都市**である。

グローバル都市研究12号(2019)より

区分	人口(万人)	人口増減率(%)	人口密度(人/km <sup>2</sup> )	GDP(億円)	GDP増減率(%)	GDP密度(100万円/km <sup>2</sup> )
全国	127,000	0.2	127	4,000,000	0.5	31
大都市圏	100,000	0.1	100	3,000,000	0.4	30
中核都市圏	20,000	0.3	20	600,000	0.6	30
地方圏	7,000	0.4	7	200,000	0.7	28
浜松市	800,000	0.3	800	2,500,000	0.5	31
浜北区	150,000	0.2	150	450,000	0.3	30
浜南区	150,000	0.2	150	450,000	0.3	30
浜中区	150,000	0.2	150	450,000	0.3	30
浜東区	150,000	0.2	150	450,000	0.3	30
浜西区	150,000	0.2	150	450,000	0.3	30



### 政令市一幸せな街！ 浜松

■ 4年ぶり2度目 ランキング1位

- 健康分野 スポーツ施設の多さ  
要介護認定率の低さ
- 生活分野 待機児童数の低さ  
一人暮らし高齢者数の低さ

順位	自治体	2019年順位	2020年順位	2021年順位
1位	浜松市	1位	1位	1位
2位	川崎市	2位	2位	2位
3位	名古屋市	3位	3位	3位
4位	横浜市	4位	4位	4位
5位	仙台市	5位	5位	5位
6位	福岡市	6位	6位	6位
7位	札幌市	7位	7位	7位
8位	東京都	8位	8位	8位
9位	大阪市	9位	9位	9位
10位	新潟市	10位	10位	10位

### 健康寿命 上位常連！ 浜松

■ 浜松市の女性 4期連続1位！！

・好結果の要因は・・・？  
温暖な気候と食の豊かさ  
市民の健康意識の高さ  
日頃の取組の成果・・・健康関連の施策

【大都市別の健康寿命】の2019年順位

男性	女性
①仙台市 73.82歳	①浜松市 76.65歳
②さいたま市 73.82歳	②千葉市 76.16歳
③広島市 73.77歳	③仙台市 75.99歳
④浜松市 73.74歳	④さいたま市 75.79歳
⑤静岡市 73.07歳	⑤北九州市 75.63歳

### 現状の歯科口腔保健の 取り組みの紹介

成人期

#### 浜松市歯科口腔保健推進計画

かかりつけ歯科医院で 歯科検診・保健指導を受け  
自分自身で必要なケアに取り組みましょう。

- 歯周病と全身疾患や生活習慣との関連についての正しい知識の普及
- かかりつけ歯科医院での健康管理の推進
- 食に関する知識・選択力の向上

### 現行の歯科健診（検診）の体制

検診の種類	検診方法	実施主体	対象年齢(対象者)	備考
当院受診検診	歯士検診法	市町村	18歳以上 70歳	義務
学校歯科検診	学校検診法	学校	小・中・高 学童	義務 (大半は検診)
歯周病検診	保健師検診法	市町村	40, 50, 60, 70歳	※ 歯周病検診マニュアル2018, 実施率: 調査
保健士による生活習慣病予防検診	保健士検診法	市町村	40, 50, 60, 70歳	義務
その他(歯科検診)	歯士検診法	市町村	任意	義務

● 国の制度の対象は 40, 50, 60, 70歳のみ  
● 浜松市の対象は 30歳以上 自己負担金500円


平成30年度の 国の実施率は 72.6% 未実施市町村4,476ある中で 対象を拡大し、歯科検診の機会を提供する試みとしている

## 浜松ウェルネス推進協議会

「予防・健康都市の実現」を目指す地域の推進組織

- ・疾病 介護予防
- ・健康づくり
- ・ウェルネス・ヘルスケア産業の振興

経済産業省の次世代ヘルスケア産業協議会の地域版協議会として位置づけ



「健康経営」としての視点からの切り口

## 令和2年11月 「GOTOデンタル」活動

- 浜松ウェルネス推進協議会
- 健康はままつ21推進協力団体
- その他 一般企業 等にアプローチ

工業組合などにもアプローチ！  
組合の理事会で説明する時間を頂けた




GOTOデンタル 啓発チラシ





浜松ウェルネス推進協議会 健康はままつ21推進協力団体

## 令和2年11月の活動にて

### GOTOデンタル活動



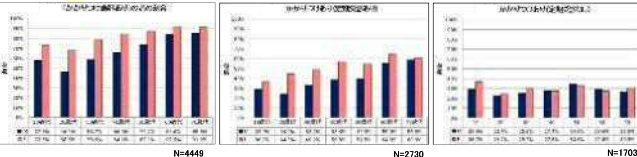
GOTOデンタル 啓発チラシ 裏面



歯周病に関するアンケート

実績: 協力企業235社・アンケート回収数5999枚

## 令和2年11月のアンケートの結果より

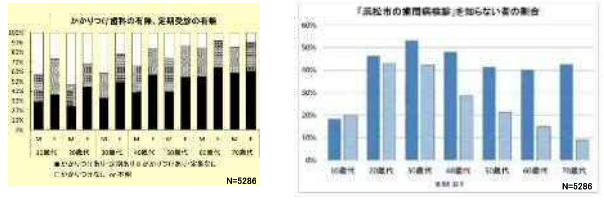


N=4448 N=2730 N=1703

- かかりつけ歯科ありとかなりの人が答えるこの調査時は 7.4%
- 定期受診 約半数 かかりつけがあり 定期受診している人 45.6%
- かかりつけって?? 困った時の受診先として理解?

かかりつけ歯科医院で定期管理してもらうことの大切さが伝わっていない

## 令和2年11月のアンケートの結果より



N=5286 N=5286

- 40代、50代 男性 かかりつけのある率 定期受診受診率ともに低い
- 歯周病検診の認知度 特に40代以降の男性が低い
- 得られた結果 この年代を啓蒙のターゲットにすべき!!

## 歯科保健に関する課題 あれこれ

- A 避けられない超高齢化
- B 「歯周病」で歯を失う人が多いという事実
- C 「かかりつけ歯科」が浸透していない
- D 定期受診の必要性が理解してもらえない
- E 働き盛りの世代は健康に無関心
- F 無関心層へのアプローチの難しさ



歯科保健担当者の悩みの渦..

## 近年の取組

啓発ちらしは 歯周病予防、オーラルフレイル予防などを提供  
浜松市歯周病検診の受診券の発行受付  
「GOGOデンタル通信」を作成し 定期発行

令和2年 11月	令和3年 6月	令和3年 11月	令和4年 6月
GOTOデンタル活動 啓発チラシ配布 アンケート調査	啓発チラシ配布 受診券の発行受付 歯科講話のDVD作成・貸与	啓発チラシ配布 受診券の発行受付 啓発動画作成 厚労省資料提供	啓発チラシ配布 事業所内での啓発活動 事業所内で受診券発行受付
チラシ 235社 アンケート回収 5999枚	チラシ 36社 3810枚	チラシ 106社 4640枚 動画 53社 2000人視聴	チラシ 18社 5424人 (PDFでの共有も含む)

## 成果が

実績が数値で見えにくい  
継続した活動で、何らかの効果は出ているので  
しょうが、それらを数値で表せないもどかしさ。  
市内でも地域差が大きく 均一のサービスでは  
かゆいところに手が届かない  
どうやって がんばれば良いのだろう・・・

と言ったときに モデル事業のお話があり、手を挙げていただきました

## モデル事業実施の流れ

- モデル事業への参加説明会
- 関係者との調整

6月～7月

- 厚生労働省委託事業に関する説明会に参加
- モデル事業参加に向けて浜松市とモデル事業実施事務局で参加可能性のあるモデル事業の実施方法・内容を個別相談

7月～10月

- 浜松市の現場担当者を含めて、モデル事業実施事務局と実施内容について複数回調整等を実施

11月

- 11月8日「いい歯の日」にからめて実施

対象企業数 約100社  
最終的には 112社に  
想定対象者数 5000人程度  
実際には 6750人に

実施期間は??  
11月8日「いい歯の日」にからめて実施

歯科健診受診の案内を市内の企業と連携して実施

## モデル事業実施の流れ

- 案内チラシの準備

11月の企業へのアプローチが定着しつつあるため 活用

9月～10月

- 市内の企業担当者へ配布する今回のモデル事業の案内チラシの作成
- 「いい歯の日」のイベントに合わせて企業で配布できるように準備を実施

興味を引くキャッチコピーは？  
無料！ 500円！ 等

健康チェックとともに市民限定として 歯周病検診のPRも実施

アプリの簡単さをアピール  
・ダウンロード不要  
・3分でチェック終了 など

動画の紹介  
情報提供したい項目の動画へ飛ぶQRコード

何回も校正を重ねました

## モデル事業実施の流れ

- 周知
- アプリの実施

10月

- 浜松市内企業の案内担当者へ今回のモデル事業の周知後、各企業へ浜松市の担当職員から歯科健診の案内と共にお口の健康チェックアプリの案内をチラシの配布を含め実施

11月

- 各企業の担当者から案内チラシ等にて歯科健診やお口の健康チェックアプリの案内を実施
- 従業員は個別にお口の健康チェックアプリを実施。
- 浜松市歯周病検診の受診券の発行を受付

事業所の窓口となる職員へ今回の活動の主旨を説明

QRコードより申込 または 事業所経由

## 従業員のかたが実施した手順

### 令和4年 11月 モデル事業

アプリを使用した 歯ぐきの健康 口臭チェック

QRコードから参加登録

健康チェックアプリの利用 ①歯ぐき、舌をカメラで撮影

健康チェックアプリの利用 ②チェック項目 8問実施

チェック終了後、結果がスマホに届く

歯周病に関する動画の紹介

行動変容につながるか？

歯周病検診  
浜松市指定  
30歳以上  
自己負担 500円

チラシ

112社  
6750人に  
アプローチ  
(PDFでの共有含)



## モデル事業で追加した実施事項



### アプリでお口の健康チェック

前回までは デジタルを活用しつつも 一方的な情報提供のみであった

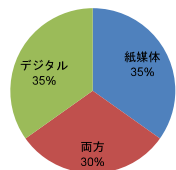
アプリを使用することが 初めての試み

スマホのカメラ機能を使用することも初めて

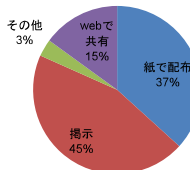
受診券発行以外で個人情報を収集するも初めて

## 媒体の活用について

### 扱いやすさ



### 活用方法



工場などの現場従業員には 紙媒体のほうが使い勝手が良いとのご意見 (配布のほか、掲示や回覧で共有していただきました)

社内ネットワークが利用できる場所は 社内掲示板にのせたり、社内メールで周知していただきましたこと

手元に届かせるためには まだ 紙媒体が必要。そこから どのようにして デジタルツールを活用していただけるか...

配属されている部署やデジタルインフラの環境により どちらが良いとは一概には言えない

## 今回の実証実験を通して

協力事業所からのご意見

- 個人情報を収集される事への不安
- 写真を撮る という ひと手間
- 職場でのデジタルツールの活用性
- 関連情報を提供できる強みを活かせる
- 空いた時間に手軽に出来る内容で

事前アンケート

個人情報の登録 7項目

歯の健康に関すること 7項目

↓

登録・同意

↓

健康チェックアプリ 使用

舌・歯ぐきを撮影

チェック項目 8項目

↓

結果を通知

14項目ともなると、結構な量字が飛んでくると多い印象

簡単なようで 簡単じゃなかった?

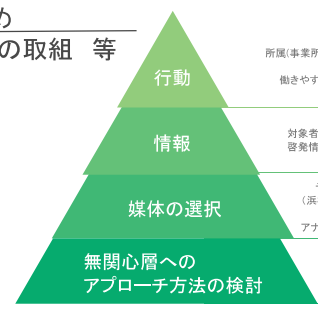
結果的に 入力に必要な項目は 22項目となってしまった

事前アンケートとかぶる項目もいくつかあったが、システム上やむを得ずそのまま使用

歯周病検診 受診券申し込み 71名    アプリを実際に登録、使用した人 62名

チラシ配布、データで提供したうちの1%弱

## まとめ 今後の取組等



所属(事業所)の健康経営への はたらきかけ  
働きやすい、受診しやすい 環境作りへ

対象者の情報を収集することと 啓発情報を充実させることの両立

デジタルツールの活用 (浜松市 デジタルファースト宣言)  
アナログ(紙媒体)の併用も必須


個々に対するアプローチは、所属からの働きかけが 期待大

単回では結果は出ない。根気よく繰り返して実施することで、変化が出てくると期待する。

健康リテラシーの向上は、従業員1人ひとりの意識に働きかけ行動変容を促す 草の根運動。

## 行政としてできることは?

### 介入のはしご



- Level 1 選択させない
- Level 2 選択を制限する
- Level 3 逆インセンティブにより選択を誘導する
- Level 4 インセンティブにより選択を誘導する
- Level 5 デフォルトの設定を変えて選択を誘導する
- Level 6 環境を整えて無意識的な選択を誘導する
- Level 7 情報を提供する(教育・啓発)
- Level 8 何もしない、ただ現状をモニタリングする

情報提供の方法を検討する必要あり。市民が望ましい行動がとれるよう、事業所にも協力を仰ぐ。

## 今後の取組等

### デジタルツールの活用

- ・デジタルを活用した「伝え方」
- ・行政側が「伝えたい内容」
- ・市民の方が「知りたい情報」の提供

広い年代に対して どのような啓発方法が有効なのか?

個にばかりでは無く 集団(事業所)に対して どのようにアプローチしていくか? ➡ R5に挑戦

厚生労働省さま  
NTTD研究所さま

今回  
このような機会を与えて頂き  
ありがとうございました

謝辞



© 浜松市



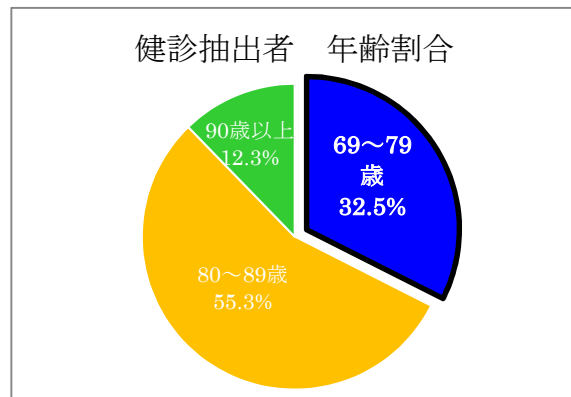
ご清聴  
ありがとう  
ございました

## 【結果報告】令和4年度『健康長寿を目指して～口の健康づくり訪問～』について (高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施)

### 1. データ抽出内容

令和3年度後期高齢者健康診査の問診において、口腔機能の低下のおそれがある項目に該当し、医療保険による歯科受診をした記録のない者。

年齢区分	男性	女性	計
69～79歳	149人	134人	283人
80～89歳	213人	269人	482人
90歳以上	35人	72人	161人
計	397人	475人	872人



### 2. 実施対象

令和4年3月31日時点の年齢が69～79歳になる者 283人

※R3年度と同様に自分で行動を起こせる可能性の高い年齢区分に実施する。

### 3. 実施内容

①対象者へ事業の案内通知を各区健康づくり課から令和4年8月19日付で発送する。

《発送内容》

- ・令和4年度『健康長寿を目指して～口の健康づくり訪問～』のご案内
- ・『自分の口の健康状態を知るアンケート』（締め切り9月30日）
- ・長3封筒（アンケート返信用の健康増進課宛名入り料金後納封筒 ※薄いピンク）
- ・オーラルフレイル予防の啓発リーフレット（知ろう！オーラルフレイル）

②アンケート回答を同封した返信用封筒の郵送で得る。

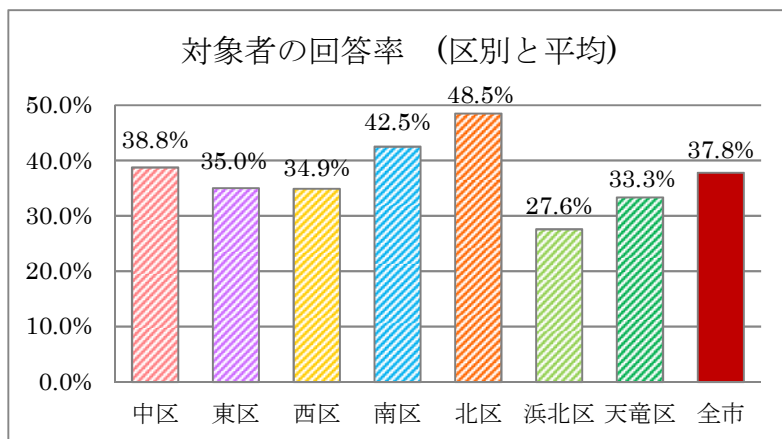
③訪問希望者へ連絡をとり対面アセスメントと啓発を行う訪問を実施する。

### 4. 結果

#### 【対象者の回答数・率】

回答件数107人(男性62人、女性42人、不明3人)回答のなかったものは176人だった。R3年度の実施では全市平均の回答率が22.6%だったが、R4年度は37.8%と約15.2%上昇した。

区	対象数	回答数
中区	80人	31人
東区	40人	14人
西区	43人	15人
南区	40人	17人
北区	33人	16人
浜北区	29人	8人
天竜区	18人	6人
計	283人	107人

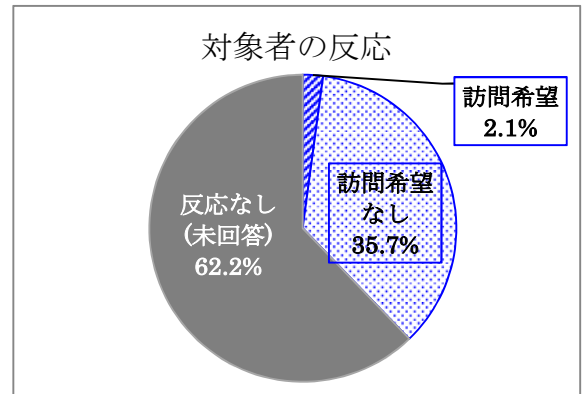


### 【対象者の訪問希望】

回答が得られた 107 人中、訪問希望者 6 名に訪問調整の電話をしたが、訪問の実施は 4 名だった。

訪問したケースには、その後に電話で歯科受診を確認でき、2 回目訪問を実施したケースはなかった。

訪問希望	男性	女性	不明	計
希望あり	4 人	2 人	0 人	6 人
希望なし	58 人	40 人	3 人	101 人

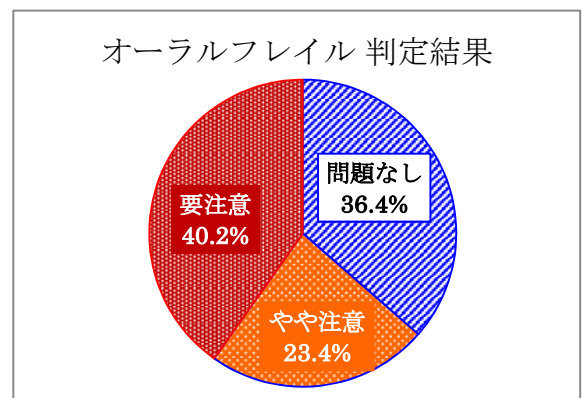


### 【アンケート回答 まとめ】 回答数：107 名

#### ① オーラルフレイル 判定結果

回答者の 68 名 (63.6%) にオーラルフレイルの危険性がある結果となった。

判定結果	男性	女性	不明	計
問題なし	25 人	14 人	0 人	39 人
やや注意	17 人	8 人	0 人	25 人
要注意	19 人	21 人	3 人	43 人

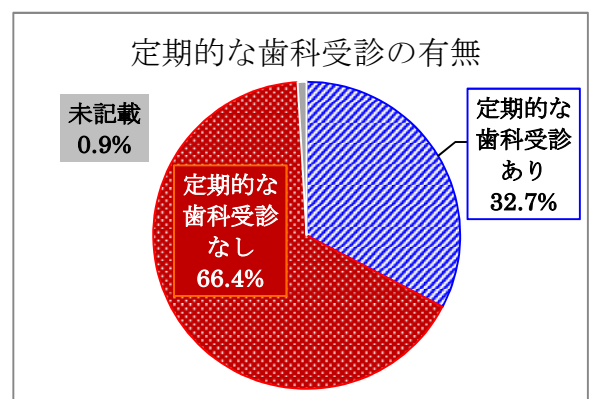


アンケート質問項目 (出典 東京大学高齢社会総合研究機構 田中友規、飯島勝矢作成より改編)

#### ② 定期的な歯科受診の有無

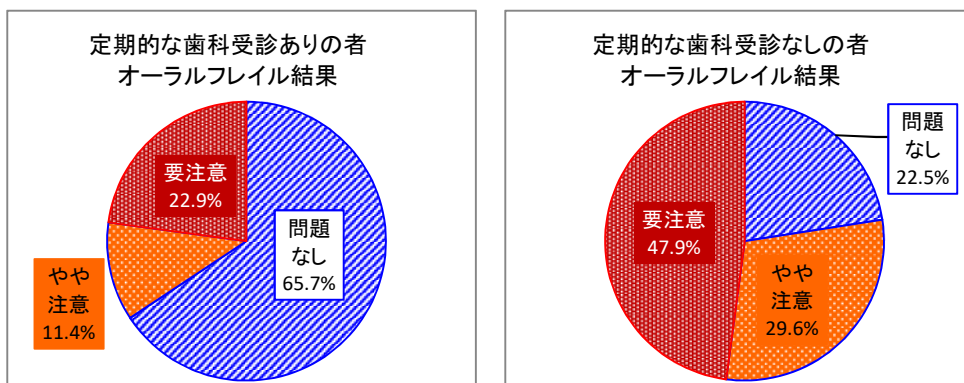
「定期的な歯科受診」の解釈が様々であり、医療保険以外の歯科健診等（歯周病検診、特定健診等）も受診ありに含まれると推察される。

回答	男性	女性	不明	計
受診あり	18 人	17 人	0 人	35 人
受診なし	44 人	24 人	3 人	71 人
未記載	0 人	1 人	0 人	1 人



#### ③ 定期的な歯科受診の有無別のオーラルフレイル判定結果

歯科受診	問題なし	やや注意	要注意	計
受診あり	23 人	4 人	8 人	35 人
受診なし	16 人	21 人	34 人	71 人



④自分の口の健康で気になること : 記載なし 79 人、記載あり 28 人

記載概要	人数
気を付けている内容	2 人
歯科通院予定・通院状況	8 人
自己認識	4 人
問題の気づき	14 人

#### 【問題の気づき】

口臭 2 件、隙間や歯ぐき 2 件  
ねばつき・乾燥 2 件  
食べこぼし、噛みにくさ 4 件  
歯の喪失 3 件  
運動不足 1 件

⑤自分の健康づくりのための行動 : 記載なし 15 人、記載あり 92 人

自分の健康づくり	人数
地域の集まりに参加	29 人
運動に関する集まりや習い事	27 人
趣味の集まりや習い事	34 人
自分で運動習慣(散歩・体操等)	79 人
その他	16 人

#### 【その他の健康づくり】

家庭菜園・畑作業 6 件  
仕事・ボランティア活動 2 件  
外出・デイケア 3 件  
読書・パズル・ネット等 2 件  
食事習慣 1 件、  
昼寝 1 件  
今後の予定 1 件

#### 【やり取りをした対象者に関するエピソード】

- 訪問希望者へ調整の電話掛けをしたが、既に受診済みや受診予定ありのため訪問不要となった。いずれもかかりつけ歯科医院があり、自分で行動できるケースだった。
- コーラスグループや体操サークルに所属してアクティブに活動していた。歯周病検診希望があり、浜松市の歯周病検診を説明したうえで発券できた。発券後の翌月には受診していた。
- 回答時から訪問するまでに介護認定を受けたため、訪問診査を紹介し受診につなげることができた。本人も自分の思うように動かない身体で受診してよいか不安だったとのことで、行政事業のつながりをもって紹介できたことで対象者の安心につながった良い事例になった。
- 訪問希望は無かったが、「最近、歯の具合が悪く悩んでいる。長い間歯科にかかっていない」とアンケートに記載されており、連絡先番号も記載があったため電話で様子を聞いた。息子さんが歯科医院を予約してくれ、歯科受診の予定があるとのことだったため、このアンケートがきっかけだったのではないかと推察される。

### 【アンケート回答の様子や回答結果からのエピソード】

- 締め切りを過ぎての回答もあつたことから、思い出して回答する場合もあるようだった
- アンケートが無記名で、個人を特定できなかったケースがあつた。
- アンケートの「健康のためにやっていること」に記入されている様子から、意識が高い者が多い印象を受けた。特に点数が4点以上の方で、特に値が高い者は自由欄に歯科通院中の旨を書いてくる者が多かつた。

### 【その他】

南区と西区で保健師による健康不明者への訪問へ同行し、歯科受診啓発を行った。

訪問実績：8名（内訳 南区2名、西区6名）

《訪問時の様子》

- ・ 口頭での啓発や資料配布、可能な方にはアセスメントを状況に応じて実施した。
- ・ 定期的に歯科受診をしている方が3名いた。
- ・ 後期高齢者歯科健診や歯科受診の意向を聞くことが出来たケースもあつた。
- ・ 歯科的問題点の自覚をもっている方もいた。

## 5. 考察

### 【アンケート回答状況】

- FAX や訪問回収での回答を行った昨年度に比べ、返信封筒同封での郵送では回答率が15.2%上がった。返信用封筒同封が回答のしやすさへの有効だつたことがわかつた。
- 実施方法として、わかりやすいメリットを示すことなどの検討は引き続き必要と考えられる。
- 昨年度と同様に抽出された多少の中で若い年代に実施しての回答率が4割弱のため、80歳以上で実施しても低い回答率とやり取りの困難性が増えることが推測される。

### 【回答内容と回答者の状況】

- オーラルフレイルリスク要注意の42名中11名が自分の健康のために実施していることの記載がなかつたため、本事業でかかわることが対象者の健康づくりへの意識づくりや行動変容のきっかけになることが期待できる可能性がある。
- 口に関する気づきや対策の記載は26名の記載があり、特に生活に関わることで困難を感じている内容の10名の内4名の訪問希望があり全員が歯科受診や歯科受診予定につながつた。困難感が行動変容しやすいタイミングとなるため、積極的に関わる選択肢も必要と考えられる。

### 【訪問希望等の啓発アプローチ】

- 令和3年度と令和4年度は緊急事態宣言の中での実施だつたため、感染症状況が改善されてきた場合には、訪問希望が増える可能性がある。
- 自宅への訪問希望がない場合にも、「電話相談」や「受診券発券」など訪問以外の選択肢を増やすことで関わることを増やす可能性が期待できる。
- オーラルフレイルリスクが高いと思われる回答者へ「電話で様子を聞いてもいいか」など積極的な選択肢を入れて、受動的な対象も効果的になる工夫が必要と考えられる。
- 歯周病検診発券後すぐ受診行動を起こしてもらえる者もいるため、歯周病検診の受診履歴のある者に自動的に発券できるなど、事業間の連携もできればよいと感じた。

### 3 歯科口腔保健推進に関する浜松市の取組

#### (1) 生涯にわたる歯科口腔保健対策

##### 1) 妊娠期・乳幼児期

担当課	取組	対象	内容	R4年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R5年度以降の取組や今後の方向性等)
健康増進課	妊婦の歯科健診	妊婦	・妊婦の歯科健診、歯科保健指導を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠届出時に受診票を配布し、受診希望者は、委託医療機関で受診。</li> <li>・受診率：49.9%</li> <li>・定期的な歯科健診の受診率：45.1%</li> </ul>	・妊娠届出時の保健指導など、妊婦とのかかわりの中で、引き続き、受診勧奨に努める。
	幼児の歯科健診	1歳6か月児 2歳児 3歳児	・歯科健康診査を実施し、必要に応じて歯科保健指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1歳6か月児、2歳児は集団健診。3歳児歯科健診は中・東・西・南・北区は歯科医院での個別健診、浜北・天竜区は集団健診を実施。</li> <li>・かかりつけ歯科医院での定期管理の重要性を普及啓発。</li> <li>・1.6Y.O:99.9% 3Y.O:83.7%</li> <li>・3歳児のう蝕有病者率は8.9%</li> </ul>	・かかりつけ歯科の重要性について、より一層の普及啓発が必要である。
	フッ化物洗口	幼児	・幼稚園、保育所、こども園にてフッ化物洗口を実施する。	・半分弱の施設（94施設/237施設）で実施。	・引き続き、幼・保育園長会等にて事業説明を行い、実施施設数の増加に努める。
	母子の健康教育	乳幼児 保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フッ化物利用によるう蝕予防を普及啓発する。</li> <li>・噛むことの大切さや望ましい食習慣の定着を目指した働きかけを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各幼児教育・保育施設での健康教育は、少しずつ再開。昨年度のDVD貸与に加え、紙芝居の貸与や、実際に園での実施など行った。</li> <li>・117回 6470名参加（貸与実績も含む）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かかりつけ歯科の重要性について、より一層の普及啓発が必要である。</li> <li>・対象となる園の状況に合わせ、様々な実施方法を考える。</li> </ul>
幼児教育・保育課	幼稚園・保育所における歯科保健の推進	園児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科検診の実施</li> <li>・口を育む教室の開催</li> <li>・歯の磨き方や口のすすぎ方及び仕上げ磨きの大切さの指導</li> <li>・望ましい食習慣の定着化を図る支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科検診をとおして、歯と口腔内の状態を正しく把握し、むし歯予防に対する関心を高められるよう支援した。</li> <li>・口腔保健医療センターの貸出し絵本や、DVD、園手づくりの紙芝居などの教材を活用し、園児たちが楽しく学べる機会を設けた。また歯科衛生士の協力を得て、園及び家庭で継続して歯科保健を推進するよう啓発した。</li> <li>・各家庭に資料の配布をした。（ほけんニュース・園だより等）</li> <li>・管理栄養士と連携し、保護者に対して食育を通じて、望ましい食習慣の定着化を図れるよう支援することを心掛けた。</li> <li>・正しい食べ方の基礎が身に付くよう、「よく噛んで食べる」「飲み込み方」等、日常的に学ぶ機会を設けるよう啓発した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科保健の大切さについて保護者の理解を得て、継続的に園及び家庭で取り組めるよう啓発する。</li> <li>・歯科保健推進の基盤づくりの時期である乳幼児期から、むし歯予防のための方法を実践できるようにする。</li> </ul>

2) 学齢期

担当課	取組	対象	内容	R4年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R5年度以降の取組や今後の方向性等)
健康安全課	学校における 歯科保健の推進	小学生 中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期健康診断で歯科健診を実施。</li> <li>・教育活動において、歯の必要性・大切さを含め、むし歯や歯周病の予防について指導。</li> <li>・歯を清潔に保つため歯みがきを習慣化させ、自分で自分の歯やからだを意識的に守らせるという観点から昼食後の歯みがきの習慣化を目指す。</li> <li>・むし歯の多い子どもについては、学校歯科医の助言を受け、健診後、個別の保健指導に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期健康診断では、学校歯科医と連携を図り、健康診断の結果をもとに、むし歯や歯周病の予防について指導。</li> <li>・自分で自分の歯やからだを守る意識につなげるため、「歯と口の健康週間」を啓発し、歯みがきの習慣化の定着に努めた。</li> <li>さらに学校では、むし歯の多い児童・生徒には保護者にも連絡し、学校歯科医とともに個別の保健指導に努めた。</li> <li>・浜松市学校保健会学校歯科医部研修会において、教職員を対象にした「夏に向けて歯科衛生上で留意すべきポイント」についての講話を動画配信した。</li> <li>・浜松市学校保健会学校歯科医部研修会において、教職員を対象にした「口腔内の環境・衛生等」についての講話を動画配信した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期健康診断の結果をもとに、学校歯科医と連携を図り、むし歯や歯周病の予防について指導していく。</li> <li>・自分で自分の歯を守る意識を高めるため「歯と口の健康週間」を通して、歯みがきの習慣化を図る。</li> <li>・むし歯の多い児童・生徒には、保護者にも連絡し、学校歯科医とともに個別の指導に努める。</li> <li>・今後、歯科医師会が取り組んでいく、学齢期における歯周病に対する歯科保健教育に協力する。</li> </ul>
健康安全課	学校における 食育について	小学生 中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養教諭・学校栄養職員等を中心とし、よくかんで食べることを意識した献立を作成する。</li> <li>・教職員と連携・協力し、食に関する指導体制の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1か月に数回「カミカミメニュー」（よく噛んで食べる献立）を立案、実施</li> <li>・栄養教諭等が、よく噛んで食べることの重要性を指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1か月に数回「カミカミメニュー」（よく噛んで食べる献立）を立案。</li> <li>・栄養教諭等が、よく噛んで食べることの重要性を指導。</li> <li>・「歯と口の健康週間」がある6月には、骨や歯を丈夫にするカルシウムを多く含む食品、あごを強くするために、よくかんで食べる食品を多く取り入れていく。</li> </ul>



3) 成人期

担当課	取組	対象	内容	R4年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R5年度以降の取組や今後の方向性等)
健康増進課	歯周病検診	30歳以上の市民	・歯科健診、保健指導を実施する。	・受診者数：5,245人 ・30歳以上の市民に対し歯周病検診を実施。 ・受診券は、30、35、、、、70歳の市民に対して郵送。 ・企業との取り組みの中で受診券の発行を実施。	・今後も受診率向上のため、啓発を継続していく。
	健康教育	市民 企業等	・地域団体や企業等からの希望に応じ、口腔機能の維持向上や口腔ケアについて普及啓発を実施する。	・住民団体や・健康保険組合等に健康教育の実施を案内し、希望のある団体の活動の場や事業所で健康教育を実施。	・引き続き、事業の周知に努めるとともに、今後はオーラルフレイルの概念の普及に取組む。
	歯周病検診等・ 受診啓発	市民 企業等	・健康はままつ21推進団体に歯周病検診について普及啓発する。 ・厚生労働省の歯科健康診査事業に係るモデル事業（アプリを用いた健康チェック）を実施	・健康教育に対しては、動画での配信を希望される企業が多く、動画媒体の健康教育資料を作成し、視聴を依頼した。 ・取組に興味を示す企業に赴き、歯周病検診の受診券発行の申し込みを受けた。 ・特定保健指導利用券発行時に喫煙歴のある者に歯周病の理解を深めてもらうため、チラシを国保年金課と連携し配布。	・歯周病検診に関する普及啓発に努める。特に、事業所に対して働きかけを強化する。
ウエルネス推進事業本部	浜松市民の健康づくりの推進に関する連携協定に基づく歯科保健事業の試行	市民	・株式会社ミナケアの予防型歯科検診プログラム「デンタルIQチェック」を活用した学生向け意識啓発トライアル事業を実施する。	・事業実施に向け、株式会社ミナケア及び市内5か所の大学・専門学校と事前調整を行った。	・デンタルIQチェックを活用した意識啓発トライアル事業を市内の大学・専門学校5校を対象に実施。 ・若年層の口腔に関する健康状況を把握し、この世代の課題を明らかにするとともに、結果に応じて今後の施策検討の参考とする。
高齢者福祉課	市民公開講座	市民	歯科、口腔ケア等に関する内容の市民向け講演会等を実施する。（歯科医師会へ委託）	市民公開講座を2回実施 ※WEB配信あり ・令和4年7月3日「お口元気でしっかり栄養」 会場参加者数：56人 ・令和4年11月20日「『食べる』発達～健口な成人は子どもから～」 会場参加者数：64人	引き続き、幅広く市民に歯科・口腔ケアについて知っていただく機会として実施していく。
国保年金課	生活習慣病重症化予防	市民	生活習慣病対策の一環として、歯科疾患予防を啓発する。	特定健康診査受診者で医療機関への受診勧奨通知対象者のうち喫煙者に対し、歯周病に関する啓発ちらしを発送 発送件数：86件	生活習慣病対策の一環として、今後も歯周病について啓発していく。

4) 高齢期

担当課	取組	対象	内容	R4年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R5年度以降の取組や今後の方向性等)
健康増進課	歯周病検診	30歳以上の市民	・歯科健診、保健指導を実施する。	・30歳以上の市民に対し歯周病検診を実施。 ・受診券は、30、35、、、、70歳の市民に対して郵送。	・今後も受診率向上のため、啓発を継続していく。
	健康教育	高齢者	・地域団体や企業等からの希望に応じ、口腔機能の維持向上や口腔ケアについて普及啓発を実施する。	・歯科衛生士を派遣し、口腔機能の向上等についての健康教育を実施。	・引き続き、事業ならびにオーラルフレイルの概念の周知に努める。
	口腔ケアの普及啓発	介護保険事業所	・介護事業所に対し、口腔ケアの重要性や効果などを普及啓発する。	・通所の介護事業所に対し、訪問して普及啓発を実施。	・引き続き、事業の周知に努め、介護事業所において口腔ケアの関心を高めていく。
	歯科受診勧奨	高齢者	・歯科医療機関への受診勧奨をする。	・求めがあった高齢者等に訪問して歯科相談を実施。	・介護予防と保健事業の一体的実施に向け、対象を拡大して試行する。
	歯科訪問診査	通院困難な者	・居宅等で療養し通院しての歯科診療が困難と目される者に対し、求めに応じて訪問して歯科健康診査を行う。	・市民の訪問希望を浜松市が受付、歯科医師会に訪問診査を依頼。	・事業の周知に努める。
高齢者福祉課	口腔機能向上普及啓発事業	高齢者	・在宅の虚弱な高齢者を対象に、口腔機能向上及び口腔ケアについての正しい知識や技術を普及啓発することで、介護予防を推進する。	・市内22か所の元気はつらつ教室のうち指定した4教室（16グループ）の参加者を対象に、歯科衛生士によるオーラルフレイル予防に向けた講座を実施。後期高齢者質問票を活用し、1グループにつき2回の講座を開催した。（実施延回数：32回 ※16グループ×2回。受講延人数：497人 ※1回目254人、2回目243人）	・R5年度も市内の元気はつらつ教室から5教室を指定し講座を実施。R6年度以降も引き続き、全市展開に向けての実施方法を検討していく。
	地域包括ケアシステム推進連絡会	医療・介護・福祉等の関係者	円滑な地域包括ケアシステムの推進を図るため、歯科医師を含めた医療関係者と介護関係者等との会議を開催する。	・令和4年7月19日、令和5年3月24日連絡会本会開催 ・全部会（連携、市民啓発、研修・情報共有、ACP）に歯科医師が参加し、医療・介護・福祉等との連携強化に向けて、多職種による協議を行った。（会議回数：31回） ・市民啓発部会の活動である「知って得るお出かけ講座」のメニューに歯科医師による講座「おいしく食べて、元気でいよう」をテーマに実施。地域住民に対し、在宅医療と介護との連携の啓発と併せて講話を実施した。（実施回数：2回、受講人数：23人）	・引き続き、連絡会本会及び各部会に歯科医師が参加し、医療・介護・福祉等との連携強化に向けて、多職種による協議を行う。 ・「知って得るお出かけ講座」による地域住民への歯科や口腔ケアについての啓発を継続していく。 ・全世代を対象にした地域包括ケアシステムへの取組みについて検討していく。

5) 障がい者の歯科

担当課	取組	対象	内容	R4年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R5年度以降の取組や今後の方向性等)
健康増進課	障がい者歯科保健医療システムの充実	・歯科医療関係者	・かかりつけ歯科での定期管理が行える体制の構築を目標として、歯科診療所、浜松医療センター、口腔保健医療センターとの意見調整を行う。	・連絡調整会議の開催：7/7, 11/10, 2/9 ・障がい者歯科協力医の周知。	・障がい者の歯科保健医療の向上、増進を図るため引き続き「浜松市障がい者歯科保健医療システム」の周知に取り組んでいく。
	かかりつけ歯科での定期管理の重要性について普及啓発	・障害福祉サービス事業所の利用者	・かかりつけ歯科での定期管理を習慣化するための普及啓発を行う。	・普及啓発の手段として施設を訪問して歯科健診を実施。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためチェックリストを作成し試用。	・かかりつけ歯科での定期管理の定着を目指し、歯周病検診のPRも併せて行う。
	歯科医療従事者の資質向上	・歯科医療関係者	・障がい者の歯科診療に必要な技術の実地研修及び講義 ・外部講師を招聘しての講演	・年間12回開催 ・外部講師の講演 1月26日 21人参加	・地域での障がい者歯科医療の充実を図る。
障害保健福祉課	・歯科保健医療の普及啓発 ・障害者差別解消法の歯科医療関係者への理解の促進	・障がいのある人、その家族 ・歯科医療関係者	・各区役所に「歯科診療でお困りの障がいのある方へ」のチラシ等をおき、歯科保健医療提供体制を周知する。 ・歯科医療関係者に対し、障害者差別解消法の理念及び内容の理解促進を図る。	・「歯科診療でお困りの障がいのある方へ」のチラシを障害保健福祉課、各区役所社会福祉課窓口を設置、障害福祉サービス事業所への集団指導の際に周知及び障害保健福祉施策連絡会においてチラシ配付をし周知した。 ・障害保健福祉施策連絡会において障害者差別解消法パンフレットを配付し周知した。	障害者の歯科保健医療の向上、増進を図るため引き続き「歯科診療でお困りの障がいのある方へ」の周知に取り組む。 ・各区社会福祉課窓口でのチラシの配架 ・障害保健福祉施策連絡会等においてチラシでの説明 ・障害福祉サービス事業所への集団指導の際にチラシを使用した周知する。 ・歯と口の健康フェスタ等において障害者差別解消法パンフレットによる説明、周知
病院管理課： 浜松医療センター	障がい者歯科診療	・一般の歯科診療所で歯科治療が困難な障がいのある人	・「障がい者歯科協力歯科医院」と連携して歯科診療を行う。 ・全身麻酔による集中歯科診療を行う。	・浜松医療センター歯科口腔外科において、週1日、特殊歯科外来を実施	引き続き、「浜松市口腔保健医療センター」及び「障がい者歯科協力歯科医院（浜松市歯科医師会）」と連携を図りながら、歯科診療を行っていく。

## (2) 状況に応じた歯科口腔保健医療対策

### 災害時の歯科口腔保健医療

担当課	取組	対象	内容	R4年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R5年度以降の取組や今後の方向性等)
健康医療課 健康増進課	浜松市医療救護対策委員会における災害時歯科医療の検討	医療関係者 ほか	災害時における医療救護対策(緊急歯科医療)、健康支援対策(口腔ケア)などについて調査研究を行う。	・第1回：令和4年8月8日 ・第2回：令和5年2月27日	・第1回：令和5年8月上旬(予定) ・第2回：令和5年11月上旬(予定) ・第3回：令和6年3月上旬(予定)
健康増進課	災害時歯科衛生士ボランティアの募集及び研修会の開催	歯科衛生士	災害時、避難所等で活動いただける歯科衛生士ボランティアを募集する。また、ボランティア登録者等に対し研修を行い、有事の際に活動いただける人材の育成を目指す。	・ボランティア登録者：35名(令和元年度末時点)	災害時歯科衛生士ボランティア募集と研修会の実施を検討する。

## (3) その他

担当課	取組	対象	内容	R4年度 実施内容・実績	課題や今後の取組 (R5年度以降の取組や今後の方向性等)
保健総務課	医療相談	市民	医療相談窓口を設置し、医療に関する患者等の苦情・相談に対して、中立的な立場で対応する。	・相談件数：1,215件(うち、歯科に関する相談：37件)	引き続き、医療相談窓口を設置し、医療に関する患者等の苦情・相談に対応していく。
子育て支援課	要保護児童対策地域協議会	児童虐待防止に関わる関係団体	児童虐待防止に向け、庁内外の関係機関の代表者による実務の円滑な運営体制整備を目的に、情報交換等を実施する。	・要保護児童対策地域協議会 代表者会議開催 第1回 令和4年9月6日 第2回 令和5年3月13日 関係機関代表者として歯科医師会代表者出席	引き続き、児童虐待防止に向け、歯科診療における虐待早期発見、通告先の情報共有等を行う。
健康増進課 (健康推進G)	歯科口腔保健推進条例と計画の周知 歯と口の健康づくりに関する啓発	一般市民	生活習慣病予防、歯と口の健康づくりに関する啓発を実施	・各健康教育やイベントにて健康はままつ21(健康増進計画)等をPR。 ・令和5年度に終期を迎える健康はままつ21・歯科口腔保健推進計画・食育推進計画の最終評価のための健康調査を実施(調査期間：令和4年10月5日～11月4日)	引き続き健康増進計画等のPRに努める。 健康はままつ21・歯科口腔保健推進計画・食育推進計画を統合し、令和6年度からの次期計画を策定する。

#### 4、歯科保健の推進に関する委員のご意見

	北村委員 (浜松市介護支援専門員連絡協議会)	小田委員 (浜松市手をつなぐ育成会)	稲川委員 (ヘルスボランティア活動連絡会)	鈴井委員 (浜松民間保育園長会)
令和4年度取組実績	<p>歯科訪問診査や歯周病検診の周知やオーラルフレイルリーフレットの紹介を圏域のケアマネ交流会や市の介護支援専門員連絡協議会役員会において実施し、担当ご利用者の歯科受診やケアマネと歯科の連携の啓蒙を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R5 1月に、口腔センター研修会にて歯科医療・歯科保健に従事している方々に、障がいのある子どもの親の立場から、子育てや歯科受診のこれまでの経緯についてお話しさせていただく機会を頂いた。</li> <li>・例年通り、新規入会の会員向け「しずおかサポートファイル」の配布説明会の際に、定期的な歯科受診を勧めた。特に幼児期会員には、かかりつけ歯科医を持つよう働きかけた。受診についての心配事や初診前の相談などは、口腔センターに相談できることを紹介した。</li> <li>・育成会全会員に対して、歯科治療や歯科受診の重要性やかかりつけ歯科医を持つ大切さを伝えるため、当会の広報紙にコラムの掲載について歯科医師会にご協力を依頼した。令和5年度より数回にわたり継続してコラムを掲載させていただく事になった。</li> <li>・R4年度末発行の広報紙に、浜松市障がい者歯科保健医療システムの紹介と障がい者歯科協力医の情報を掲載した。また、R5年度から掲載予定のコラムのお知らせを掲載した。</li> </ul>	<p>コロナもやっと5類となり、普段の生活に戻った感がありますが、私たち高齢者は外出時や人と会う機会ができた時はマスク、帰宅時はうがい・手洗いは従来通り行っております。</p> <p>協働センターのこども講座の手伝いや高齢者サロンの開催できました。そして保健師さんと相談しながら計画通りできたと思えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長会において、参加した会議の伝達し、内容を共有した。</li> <li>・保護者への啓発紙の配布</li> <li>・浜松市歯科調査及び5歳児歯科調査への協力した。</li> <li>・上記歯科調査の結果を保護者に周知</li> <li>・園児の2歳児・3歳児歯科検診の受診を奨励した。</li> <li>・市のフッ素事業について、会員園に周知した。</li> </ul>

	北村委員 (浜松市介護支援専門員連絡協議会)	小田委員 (浜松市手をつなぐ育成会)	稲川委員 (ヘルスポランティア活動連絡会)	鈴井委員 (浜松民間保育園長会)
令和5年度の取組予定	市内のケアマネ事業所、地域包括支援センター、介護サービス事業者に対し、歯科訪問診査や歯周病検診、オーラルフレイルの周知をはじめ、歯科との連携について引き続き啓蒙を行ってきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育成会の各部会に、口腔センターの出前講座を紹介したところ、特別支援学校部会にて、令和5年度に出前講座を実施することになり、現在計画をすすめている。</li> <li>・育成会全会員に対して、歯科治療や歯科受診の重要性やかかりつけ歯科医を持つ大切さを伝えるため、歯科医師会のご協力を得て令和5年度から数回にわたり広報紙にコラムを掲載させていただく事になった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年通りで特に変わったことをやれません。</li> <li>・今年はボランティア発足30周年なり記念行事はみんなで考えています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長会において、参加した会議の内容を伝達し共有する。</li> <li>・保護者への啓発紙の配布</li> <li>・浜松市歯科調査及び5歳児歯科調査への協力。</li> <li>・園児の2歳児・3歳児歯科検診の受診を奨励していく。</li> <li>・浜松市の保育者向けの歯科健康教育研修会を受講し、園児の歯科教育に活用する。</li> </ul>

	北村委員 (浜松市介護支援専門員連絡協議会)	小田委員 (浜松市手をつなぐ育成会)	稲川委員 (ヘルスポランティア活動連絡会)	鈴井委員 (浜松民間保育園長会)
市や専門団体 に お 願 い し た い こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネ事業所、地域包括支援センター、介護サービス事業者（以下、「ケアマネ等」と表記）向けの歯科医師会の研修会・交流会の実施</li> <li>・歯科訪問診査利用により口腔機能や生活機能の向上に繋がった事例の紹介</li> <li>・ケアマネ等向けに歯科訪問診査の目的や利用の流れを分かりやすく示したもの（歯科訪問診査利用まで及び歯科訪問診査の後に訪問歯科を利用となる場合等の流れを図に示すなど）があると、ケアマネ等がより理解しやすく、ご利用者やご家族に説明しやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人期以降の会員保護者、施設職員向けに「歯周病予防」や「口腔ケア」についての講演をお願いしたい。</li> </ul>	<p>個人的に相談を受けた事ですが、インプラントについて聞いてほしいと言われました。</p>	<p>歯科検診では、むし歯は減ってきているが、口周りの発達や最近気になる、よく噛まない・丸呑みする・噛めずに溜め込むよだれが出ない等の口の機能を育てることの大切さや、日々の食事の仕方など保護者に歯と口の健康どちらも意識してもらえるようにしていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・離乳食から普通食に移行する過程での口の発達について <ul style="list-style-type: none"> <li>飲み込む機能について （誤飲の事故も多数ニュースで報道されているので）</li> <li>口の中の動き など、発達を理解したうえでの離乳食の進め方や歯の健康調査の結果や、オーラルフレイルの啓発情報等スマホやタブレットから情報が読み込みやすいようにQRコードを発行してはいかがでしょうか。また、情報を発信している事を周知することも必要だと思います。</li> </ul> </li> </ul>

	北村委員 (浜松市介護支援専門員連絡協議会)	小田委員 (浜松市手をつなぐ育成会)	稲川委員 (ヘルスポランティア活動連絡会)	鈴井委員 (浜松民間保育園長会)
市から各団体をお願いしたいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネの方が集まる機会があれば、オーラルフレイルの啓発や、訪問歯科診査の流れなどを説明する機会を頂くことができないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいがある方にとってかかりつけ歯科医を持つことは非常に重要であり、できればそれが低年齢からであることが望ましい。低年齢の保護者の集まりの場などで情報提供をすることなどができないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各区で集まりの場などがあると思われるが、その場で歯周病検診やオーラルフレイルといったことの啓発を行えないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児において、食に対して困りごとがある園が複数あることを聞いている。しかし、現状の把握ができていない。実際に少数の園の給食の時間などを見学させて頂くことは可能か。</li> </ul>



## 5 令和5年度歯科保健事業計画

(新規事業、既存事業の拡充等)

### (1) 第2次浜松市歯科口腔保健推進計画の策定

- ・浜松市歯科口腔保健推進計画の評価を元に、国が告示した基本的事項を参考にして、令和5年度中に第2次浜松市歯科口腔保健推進計画を策定する。
- ・計画期間は、第2次健康日本21の後継となる次期国民健康づくり運動プランに合わせ令和17年度までの12年間となる。
- ・第2次浜松市歯科口腔保健推進計画は、第3次浜松市健康増進計画および第4次食育推進計画と連携し、策定を行う。

### (2) 2歳児歯科健診 口を育む教室 (リットレメーターを用いた口腔機能の啓発)

- ・2歳児歯科健診を受診し、口を育む教室を希望した児及びその保護者に対し、口腔機能の啓発のためリットレメーターの体験を実施する。
- ・幼児期・学童期からの正しい口腔機能の育成を目指し、口腔機能に関する知識を普及するとともに興味・関心を高める。
- ・保護者に対しても実施することで、保護者自身の口腔に対する意識の向上に繋げる。

### (3) ミナケアのデンタルIQを用いた歯科保健の啓発

- ・令和4年8月に浜松市と株式会社ミナケアが、浜松市民の健康づくりの推進に関する協定を締結。その一環として、ミナケアのデンタルIQを用いて、浜松市内の5校の大学生・専門学校生を対象としたトライアル事業を実施する。
- ・健康への意識・関心が低い傾向にある学生世代にアプローチすることで、自身の健康を振り返るきっかけとするとともに、将来に向けた歯と口の健康に関する意識の定着を目的としている。
- ・これまで実態が把握されていなかった20歳前後の学生世代を対象にした新たな取り組みとして歯科保健に対する啓発及び歯科予防についての生活習慣等の実態を把握し、結果に応じて今後の施策検討の課題とする。

### (4) 「歯と口の健康週間」における企業ならびに大学・専門学校における取組

- ・歯と口の健康週間(6/4～6/10)前後に市内の企業ならびに大学・専門学校(ミナケアのIQチェック対象外の学校)において、啓発資料の配布と歯と口の健康づくりの意識アンケートを実施する。
- ・様々な年代に対し、啓発を実施すると共に、歯科に対する意識の現状を把握し、現在実施している計画策定に役立てる予定。

平成26～令和5年度 現計画骨子

【重点施策】

- 1 口腔機能に着目した取り組み
- 2 歯周病予防対策の推進
- 3 健康寿命の延伸に向けた歯と口の機能低下を予防する対策の推進

◆基本理念◆ ◆基本目標◆

市民一人ひとりが生きがいを持ち、いきいきと生活できる 健康都市浜松

- 1 健康の保持増進
- 2 健康寿命の延伸
- 3 生活の質の向上

市民の生涯にわたる歯と口の健康の保持増進



\*1 口腔成育：子どもが本来持っている歯と口の働きが十分に活かされ、こころとからだ健やかに育つよう育児・子育て支援を行うことをいいます。

次期健康日本21

◆ビジョン◆

全ての国民が健やかで心豊かに生活できる 持続可能な社会の実現

◆基本的な方向性◆

- 1 健康寿命の延伸と健康格差の縮小
- 2 個人の行動と健康状態の改善
  - 生活習慣の改善（栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙、歯・口腔の健康）
  - 生活習慣の発症予防・重症化予防（がん・循環器・糖尿病・COPD）
- 3 社会環境の質の向上
  - 社会とのつながり・こころの健康維持及び向上
  - 自然に健康になれる環境づくり
  - 誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備
- 4 ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり（こども・女性・高齢者）

令和6～17年度 次期計画の骨子

【必要な視点】

ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

【重点施策】

- 1 個人の行動と健康状態の改善
- 2 社会環境の質の向上

◆基本理念◆ ◆基本目標◆ ◆各分野と方向性◆

市民一人ひとりが健やかで、心豊かな自分らしい生活ができる 健康都市浜松

- 1 健康寿命の延伸
- 2 生活の質の向上
- 3 こども一人ひとりの健やかな発育・成長

- 1 いきいき生活づくり  
地域・社会とのつながりを維持・向上できる健康づくり環境の整備
- 2 生活習慣病の予防  
健診(検診)受診率向上及び事後対策の強化と保健関連データやICTを生かした健康づくりの推進
- ※第4次浜松市食育推進計画  
3 栄養・食生活  
プレコンセプションケアの一環として、若い世代への取り組みの強化と産官学共創による主体的な食の環境整備
- 4 身体活動・運動  
あらゆる生活の場での身体活動の増加と継続できる環境整備
- 5 こころの健康  
心身の疲労・ストレスを解消できる対策の推進と相談支援体制の充実
- 6 たばこ  
たばこが及ぼす健康被害の周知・啓発と受動喫煙防止対策の継続・強化
- 7 アルコール/薬物  
飲酒や薬物についての正しい知識の普及・啓発と関係機関との連携
- ※第2次浜松市歯科口腔保健推進計画  
8 歯の健康  
生涯を通じた歯科口腔保健対策の推進
- 9 妊娠期から大人になるまでの健康  
プレコンセプションケアの周知・啓発とこどもの健やかな発育・成長を守り育む地域づくりの推進

年代別健康づくりの目標

【次期計画策定にあたって】

- 「健康はままつ21 (浜松市健康増進計画)」の「歯の健康」や「栄養・食生活」の分野は、「浜松市歯科口腔保健推進計画」「浜松市食育推進計画」の内容と重なる部分があるため、次期計画では、3つの計画を統合して策定する。計画当初から「健康はままつ21」の周知に取り組んできたことから、本計画の名称は「健康はままつ21」を継承し、「健康はままつ21 (第3次浜松市健康増進計画・第2次浜松市歯科口腔保健推進計画・第4次浜松市食育推進計画)」とする。
- 施策は国の「健康日本21」と整合性を図り、具体的な取り組みを分野に分けた。分野で施策を展開し、基本目標につなげていく。
- 最終評価から、「①総人口の減少、少子高齢化の進展に合わせた健康づくりの推進」、「②健康づくりに関心の低い若い世代への重点的な取り組み」、「③民間と連携した健康づくりの広がり」、「④生活様式の変化や多様性を踏まえた環境整備」、「⑤データやICTを活用した評価と行動変容を促すための対策」の視点を踏まえた取り組みが必要。
- 分野別の最終評価では「生活習慣病の予防」「栄養・食生活(食を通じた健康づくり)」「運動」の分野の改善度が、全目標の5割以下に留まっており、次期計画における取り組みについて十分な検討が必要である。

【次期計画策定の変更点】

- 国の健康日本21のビジョンに合わせ、基本理念を「市民一人ひとりが健やかで、心豊かな自分らしい生活ができる 健康都市 浜松」とする。また、健康日本21の基本的な方向性を踏まえ、健康寿命の延伸を実現するためには、個人の行動と健康状態の改善に加え、個人を取り巻く社会環境の整備や質の向上が必要であることから「個人の行動と健康状態の改善」「社会環境の質の向上」を重点施策とする。
- 成人期における疾病やリスクの予防を、胎児期、乳幼児期から成人期、高齢期までつなげてアプローチする「ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり」の視点をもって取り組みを進めていく。

# 健康はままつ21 (第3次浜松市健康増進計画・第2次浜松市歯科口腔保健推進計画・第4次浜松市食育推進計画) 新施策体系 (案)

## 平成25～令和5年度 現計画骨子

### 【重点施策】

- 1 生活習慣病の発症予防と重症化予防
- 2 健康を守り支えるための環境整備



## 次期健康日本21

### ◆ビジョン◆

全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現

### ◆基本的な方向性◆

- 健康寿命の延伸と健康格差の縮小
- 個人の行動と健康状態の改善  
○生活習慣の改善（栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙、歯・口腔の健康）  
○生活習慣の発症予防・重症化予防（がん・循環器・糖尿病・COPD）
- 社会環境の質の向上  
○社会とのつながり・こころの健康維持及び向上  
○自然に健康になれる環境づくり  
○誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備
- ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり（こども・女性・高齢者）

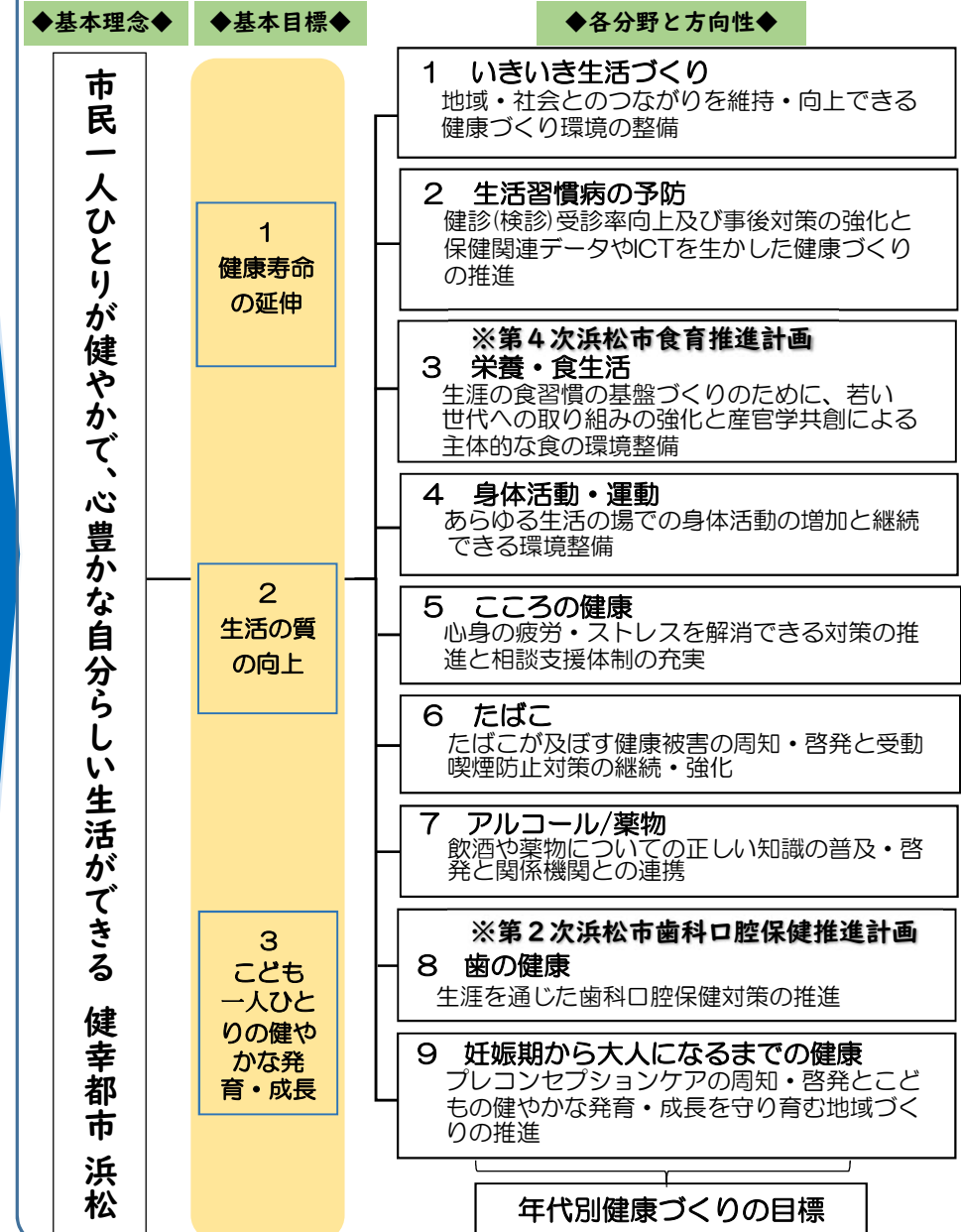
## 令和6～17年度 次期計画の骨子

### 【必要な視点】

ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

### 【重点施策】

- 1 個人の行動と健康状態の改善
- 2 社会環境の質の向上



### 【次期計画策定にあたって】

- 「健康はままつ21 (浜松市健康増進計画)」の「歯の健康」や「栄養・食生活」の分野は、「浜松市歯科口腔保健推進計画」「浜松市食育推進計画」の内容と重なる部分があるため、次期計画では、3つの計画を統合して策定する。計画当初から「健康はままつ21」の周知に取り組んできたことから、本計画の名称は「健康はままつ21」を継承し、「健康はままつ21 (第3次浜松市健康増進計画・第2次浜松市歯科口腔保健推進計画・第4次浜松市食育推進計画)」とする。
- 施策は国の「健康日本21」と整合性を図り、具体的な取り組みを分野に分けた。分野で施策を展開し、基本目標につなげていく。
- 最終評価から、「①総人口の減少、少子高齢化の進展に合わせた健康づくりの推進」、「②健康づくりに関心の低い若い世代への重点的な取り組み」、「③民間と連携した健康づくりの広がり」、「④生活様式の変化や多様性を踏まえた環境整備」、「⑤データやICTを活用した評価と行動変容を促すための対策」の視点を踏まえた取り組みが必要。
- 分野別の最終評価では「生活習慣病の予防」「栄養・食生活(食を通じた健康づくり)」「運動」の分野の改善度が、全目標の5割以下に留まっており、次期計画における取り組みについて十分な検討が必要である。

### 【次期計画策定の変更点】

- 国の健康日本21のビジョンに合わせ、基本理念を「市民一人ひとりが健やかで、心豊かな自分らしい生活ができる 健幸都市 浜松」とする。また、健康日本21の基本的な方向性を踏まえ、健康寿命の延伸を実現するためには、個人の行動と健康状態の改善に加え、個人を取り巻く社会環境の整備や質の向上が必要であることから「個人の行動と健康状態の改善」「社会環境の質の向上」を重点施策とする。
- 成人期における疾病やリスクの予防を、胎児期、乳幼児期から成人期、高齢期までつなげてアプローチする「ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり」の視点をもって取り組みを進めていく。


## 「歯と口の健康づくり」に関するアンケート 2023

ご自身の歯と口の健康を振り返る機会として、アンケートにご協力をお願いいたします。  
当てはまるものに○をつけてください。



●年代 10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代以上

●性別 男性 ・ 女性 ・ 回答しない

1	かかりつけ歯科医院はありますか？	a はい ・ b いいえ
2	定期的に歯科受診をしていますか？	a はい ・ b いいえ
	【「はい」とお答えの方】 前回歯科医院に行ったのはいつですか？	a 半年以内 ・ b 1年以内 ・ c 3年以内 ・ d 3年以上前
3	お口の中で気になっていることを教えてください。(複数回答可)	
	 <p>a むし歯がある、むし歯になりやすい b 歯ぐきが下がってきた c 歯ぐきからの出血がある d 歯石がついている、つきやすい e 歯の着色汚れがある f 口臭がある g 歯並びがきになる h 冷たい物がしみる i 歯にもものが挟まりやすい j 歯と歯の隙間が空いている k 気になるところは無い</p>	
4	一日に何回歯を磨きますか？	a 3回以上 ・ b 2回 ・ c 1回 ・ d 0回
5	普段歯みがきに使用している物 全てに○をつけてください(複数回答可)	
		a 歯ブラシ ・ b 電動歯ブラシ ・ c 歯みがき剤(フッ素入り歯みがきこ・液体歯みがき) ・ d 歯間ブラシ ・ e フロス、糸ようじ ・ f その他
6	歯科医院で歯みがきの仕方の指導を受けた事がありますか？	a はい ・ b いいえ
7	歯周病という病気を知っていますか	a はい ・ b いいえ
	【「はい」とお答えの方】 歯周病が糖尿病や心臓病、肺炎など全身の病気と密接な関係があること、 低体重児出産や早産にも影響することを知っていますか？	a はい ・ b いいえ
8	「オーラルフレイル」という言葉を聞いたことがありますか	a はい ・ b いいえ
9	口の働きについて、考えたことはありますか	a はい ・ b いいえ
10	浜松市の「歯周病検診」の制度を知っていますか？	a はい ・ b いいえ



ご協力ありがとうございました。 浜松市 健康増進課



案

学生の皆様へ

# WEBアンケート ご協力をお願い

あなたの「歯と口の健康」について教えてください

携帯電話、スマホ等よりQRコードを読み取り、ご回答下さい。



わずか  
1分！

皆様のご意見を活かして、今後の歯科保健事業を考えていきます。御協力ください！

ご回答期限：2023年7月31日（月）

## アンケート内容

- ・かかりつけ歯科医院の有無
- ・歯みがきの回数
- ・口の中で気になっていること
- ・歯周病について 等

お問い合わせ：浜松市健康増進課 歯の健康センター

TEL 053-453-6129

住所 〒432-8550 浜松市中区鴨江二丁目11-2

メール kouku@city.hamamatsu.shizuoka.jp



Thank  
you